

連谷

RENGO

弁理士連合クラブ会報

No. **32**
2022

目 次

巻 頭 言

弁理士連合クラブ幹事長	井澤 幹	2
-------------	------	---

ご 挨拶

日本弁理士会会長	杉村 純子	4
日本弁理士クラブ幹事長	中村 仁	6
西日本弁理士クラブ幹事長	川上 桂子	8
弁理士同友会幹事長	吉田倫太郎	9
弁理士クラブ幹事長	美川 公司	10

会 務 報 告

日本弁理士会副会長	笹野 拓馬	11
日本弁理士会副会長	永岡 重幸	13
弁理士連合クラブ副幹事長	岸本 達人	15
弁理士連合クラブ副幹事長	小國 泰弘	16
弁理士連合クラブ副幹事長	茜ヶ久保公二	18
令和3年度弁理士連合クラブのあゆみ		19
総務委員会		21
政策委員会		22
企画委員会		23
役員協議委員会		24
研修委員会		26

資 料

令和3年度弁理士連合クラブ役員	28
弁理士連合クラブ歴代役員	30
弁理士連合クラブ会則	54
弁理士連合クラブ慶弔規則	57
「特別寄付金」を求めるときの運用基準	58

編集後記	59
------	----

表紙「題字」 山川 政樹 「写真」 一秋の高尾山ー 吉田倫太郎

コロナ禍



弁理士連合クラブ幹事長
井澤 幹

機関誌『連合』No.32の発刊にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

令和3年度は、残念ながら昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。日本でもワクチン接種が始まり、夏過ぎには国民の7割以上が2回接種を果たし、一旦感染拡大が落ち着きを見せたときもありましたが、ウイルスは次々と変異し、落ち着きもつかの間、感染拡大の波がいくつもと押し寄せました。自ずと経済は衰退し、弁理士業界にも不況の波が音を立てて押し寄せてくるような恐ろしさを感じた一年でした。

会派の活動は、弁理士としての本業が成り立つからこそ行えるボランティア活動です。つまり、本業がおろそかになる、100年に一度も訪れないような危機的状況下において会派活動は、最低限度かつ効率的に行わなければならない。これを肝に銘じ幹事長を務めようと心掛けました。

しかし、令和3年度が始まって間もなく、日本弁理士会は大きな業際問題に直面しました。日本弁理士会の会務活動を支える我々連合としては、三派（日本弁理士クラブ様、西日本弁理士クラブ様）と協力し、日本弁理士会役員会のフォローに尽力しました。最終的には、いまだかつてない会員主催の臨時総会（会則第88条第3項に基づく臨時総会の招集）を行うことにまで発展しました。

その対応・準備のため、1月～3月は、日本弁理士クラブ中村仁幹事長、・西日本弁理士クラブ川上恵子幹事長と毎日のようにLINEやメールやZoom

で密に連絡を取り合いました。連合を構成する弁理士クラブ美川公司幹事長・弁理士同友会吉田倫太郎幹事長とは早朝から電話やメールのやり取りをするなどして情報の共有に日々努めました。

とても過密な数カ月を共に過ごしました。

お蔭様で、連合が毎年定番のように掲げる事業計画「日本弁理士会の支援のための三派体制の確立」については、例年以上の達成感といいますか、「強い絆」を感じることができました。

当然、旅行会の開催はできませんが、Zoomによる「会派交流・懇親会」を3度行い、親睦を深める事ができました。本当に、日本弁理士クラブ中村仁幹事長、・西日本弁理士クラブ川上恵子幹事長には心より感謝を申し上げます。

弁理士クラブ美川公司幹事長、弁理士同友会吉田倫太郎幹事長には、それぞれの会派を力強くまとめて頂き、拙い連合幹事長のフォローをたくさんいただきました。心より感謝申し上げます。

役員選挙では、副会長選挙・常議員選挙において立候補者がそれぞれ1名定員より多く、弁理士同友会所属の常議員候補者が立候補を取り下げることにより常議員選挙は回避となりました。コロナ禍において選挙は会派だけでなく立候補者個人への負担も大きいことから英断を頂いた弁理士同友会立候補者及び所属会派の同友会に感謝申し上げます。

副会長選挙は已む無く選挙突入となりましたが、副会長選に集中できたこと、三派が強い絆で結ばれていたこともあってか、圧倒的な票数の差で、会派

擁立の候補者全員が無事当選となりました。選挙に
たずさわった皆様に心より感謝を申し上げます。当
選された新役員の先生方におかれましては、ご活躍
を期待いたします。

一年を振り返りますと、冒頭で申し上げましたよう
に、100年に一度もない危機的状況下において、平
時とは全く異なる会派活動が求められます。そのよ
うな難しい状況下では、連合クラブ副幹事長（岸本
達人先生、小國泰弘先生、茜ヶ久保公二先生）の皆
様、連合クラブの委員会委員の先生方、それぞれ
のご協力がなければ、当クラブの活動は成り立ちま
せんでした。この場を借りて心より感謝申し上げます。

令和4年度もまだまだ「コロナ禍」は続くと思
いますが、経験豊かな中川裕幸幹事長を始めとする新
執行部の下で、コロナ禍に適した活発な活動が行わ
れることを期待いたします。



中間報告



日本弁理士会会長
杉村 純子

はじめに

令和3年度の日本弁理士会執行部は、令和2年10月末より次年度会務検討委員会を開始し、コロナ渦における事業の実施について企画・検討をしました。当初は、本年度の秋以降には新型コロナウイルスの感染状況も沈静化していることを期待しておりましたが、WHOのパンデミック宣言は続いており、新たな変異ウイルスも発現しております。

このような中で、会員及び事務局員の皆様の健康・安全を第一に考え、関係省庁等とも連絡をとりながら、ウェブを最大に活用して会務を運営してまいりました。この間、弁理士連合クラブの先生方には、陰に陽にご支援をいただき感謝しております。また、大変な努力をしていただいている副会長及び執行理事の皆様には、会長として御礼申し上げます。

弁理士会のニューノーマル形式への試行

「時代の変化をチャンスに!」というスローガンのもと、アフターコロナを見据えて、弁理士が活躍する未来社会の実現に向けた取り組み強化をしているところです。特に新設したDX委員会では、ニューノーマル形式の弁理士会について複数の提案いただき、ウェブ会議システムを最大限活用して、附属機関や委員会等の開催し、また、緊急事態宣言やまん延等防止措置が発令されている地域での相談員の事務所等からの無料相談も開始しております。また、パテント誌のウェブ化を令和4年1月から開始します。

アフターコロナの社会ニーズにマッチしたユーザーにとって魅力ある知財制度の実現に向けて

弁理士会としての発言力を高めるため、執行部だけではなく、個々の委員会や附属機関が外部に向けて発言力を高めることが重要です。また各地域会もコロナ渦の中にも拘らず、地域における存在感を高めていただいています。

今後のアフターコロナにおける魅力ある知財制度の実現のために、委員会の意見を中心に、外部への積極的な提言を行っていきます。そのため、ユーザー団体との意見交換や、中小企業やスタートアップ企業との会合を実施しています。

弁理士会の組織・機能の強化

日本弁理士会の事業の見直しや効率化を図るため、会務運営のスリム化・見直しをいたしました。従来の多数のWGでの活動を委員会に組み込む等、透明化を図るとともに、知的財産の活用（訴訟等も含む）を検討する知財活用委員会、政策等の提言を検討する知財制度検討委員会、弁理士会の会務運営のICT化の促進を検討するDX委員会、女性やジェンダー等の活躍を促進するダイバーシティ委員会を新設し、対外的な発信を強化する等、それぞれ積極的に活躍していただいています。

また、経営センターの役割を強化し、中小企業・ベンチャー・スタートアップ等に対して、JPAAサポートデスクを設置して、関係機関とともに支援を強化しているところです。

また、「2025年大阪・関西万博」に向け、大阪・関西万博対応準備委員会を設置し、日本弁理士会が士業としてはじめて大阪・関西万博の共創パートナーに登録されました。

また、個人情報保護法の改正に対応すべく、日本弁理士会が取り扱う個人情報について、十分な保護が図られるよう事務局への指導強化を行っています。

新型コロナウイルス感染症の罹患により弁理士業務が困難になった場合には、緊急の相談窓口を会長室に設けています。ご活用ください。

会員サービスの強化

関連機関等から発表された情報をタイムリーに会員にお知らせすべく、情報提供の早期発信を強化しております。

また、弁理士制度の将来を担う人材としての若手会員には、WIPO職員への就職情報等、国際的にチャレンジできる場の情報を提供してきました。今後も継続して様々なチャレンジができる場の情報を収集して提供します。

更に、登録が約10年以内の弁理士の方々と直接お話をさせていただく「会長と直接話をしてみよう！」の会合をこの秋より開始しています。参加者から、有用なご提案もいただいております。また、執行部の動向を発信するため、日本弁理士会役員会ツイッターを活用しています。

弁理士法改正

今般の弁理士法改正に関しましては、3派（日本弁理士クラブ・西日本弁理士クラブ・弁理士連合クラブ）協力して開催いただきました。臨時総会の決議を順守して、本年度執行部としては対応しております。

特に、特許業務法人から弁理士法人への名称変更については、名称変更を行わない場合はみなし解散となるため、必要な手続についてのマニュアルを作成し、説明会も開催しています。

また、今回の弁理士法改正事項も含めた特許法等改正の研修を必修研修としておりますので、令和5年3月までと言わず、早めに受講をお願いします。

最後に

最後になりますが、井澤幹幹事長には強力な3派体制を構築していただき、執行部との意思疎通を頻繁にさせていただきました。そのご尽力に心から感謝申し上げますとともに、これまでの弁理士連合クラブの先生方のご支援にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

以上



withコロナでの会派活動



日本弁理士クラブ幹事長
中村 仁

1. はじめに

本年度（令和3年度）日本弁理士クラブ幹事長を務めております、中村仁でございます。

井澤幹事長をはじめ、弁理士連合クラブの皆様には、人事・選挙・政策など様々な会務活動において協力体制を構築して頂いており、厚く御礼申し上げます。

また、今年度、弁理士連合クラブ及び西日本弁理士クラブと、清水政権、杉村政権を一丸となって支えることができ感謝しております。

今年もコロナ禍の一年で、例年の活動は大きく制限されましたが、昨年のコロナ経験を踏まえて、リモートでの会議やイベントなど新たな会務活動ができました。以下にご紹介させていただきます。

2. 今年度の日本弁理士クラブの活動

今年度、日弁幹事長に就任するにあたり、以下3つの課題（やりたいこと）を持って活動してきました。

（1）コロナ禍での日弁内の交流、懇親

例年のリアルでのイベントや研修の開催が難しいことは容易に想定できたので、政策委員会に「コロナ禍における会員交流イベントの立案及び実施」という諮問を投げました。

その結果、日弁五派それぞれが担当し、3月から5ヶ月連続のWeb会員交流イベントを開催しました。参加人数が多く、日弁五会派の個性が表れ、若手参加者も増え、日弁内でのあらたな交流懇親のやり方を発見できました。

（2）三派の結束強化

今年度当初より、連合の井澤幹事長、西弁の川上幹事長と話したのは、三派の結束強化です。

近年、無会派層などから、会派が人事を独占しているのではないかなどの批判があります。しかし、政策、人事などの会派の協力なくして日本弁理士会は運営できないことは明らかです。会派はおいしい思いをしている訳ではなく、日本弁理士会の自主的、自律的な運営を支えるために貢献しています。無会派層などからの批判にめげずに、さらに会派活動を強化していくべきです。

そのためには、三派がより結束して、日本弁理士会を支えていくことが必要です。これを踏まえて、今年度は、三派で以下の活動を行いました。

1) 臨時総会

3月26日に「日本行政書士会連合会との連携の件」の議案で臨時総会が開催されました。この臨時総会は、三派から選出された52名の弁理士により共同請求され招集されたものです。日本弁理士会史上初の会員請求による臨時総会です。日行連との連絡協議会の設置を阻止するために請求いたしました。私は、請求人代表として、議案説明、質疑応答などを担当させていただきました。

臨時総会の請求を決めてから開催まで3週間ほどしかなく、毎日のように、三派幹事長で連

絡を取り、執行役員会と調整を図り、三派内の調整をし、三派説明会を開催し、と大忙しの3週間でした。無事に承認を得て臨時総会を終えることができホッとしたことを思い出します。

今年に入って早々にこの臨時総会を成功させることができたことによって、三派の連携、結束が強まり、その後の関係がスムーズになったと思います。

2) 三派幹事長会

Z o o m、L i n e を利用して、三派幹事長会を何度も開催し、具体的な案件の相談だけでなく、情報共有などしてきました。

3) 杉村会長と三派幹事長の懇談会

執行役員会で検討している重要案件について、杉村会長からの提案で三派幹事長との懇談会を数回開催しました。案件によっては、各派で検討して杉村会長に回答などしました。

4) 三派交流会・懇親会

旅行会など、例年の交流懇親の場が失われたことから、We bでの交流懇親会を以下のように3回開催（7／2、8／25、12／20）しました。

3. 役員選挙

今年は副会長候補が定員を1名超え選挙になりました。落選候補とは大差をつけて、三派の推薦候補は全員当選という結果を得ることができました。

弁理士連合クラブのご協力に感謝申し上げます。

4. おわりに

コロナ禍の一年で、旅行会など多くのイベントが中止となり、皆さまと直接お会いできずに残念ではありましたが、リモートで対応できること、リモートだからできることも見付き、結果として、例年より三派の交流活動は盛んになったとも思われます。

これも、弁理士連合クラブの井澤幹事長と西日本弁理士クラブの川上幹事長のお人柄のお陰であり、また、両会派のご理解ご協力のお陰です。本当にあ

りがとうございました。

次年度以降も、三派の結束が強まることを望んでおります。弁理士連合クラブの引き続きのご協力をお願いいたします。

以上



来年こそは旅行会復活を祈って

西日本弁理士クラブ幹事長
川上 桂子



令和3年度西日本弁理士クラブの幹事長を務めております川上桂子でございます。

この度は貴クラブの機関誌に挨拶を掲載いただく貴重な機会を賜り、誠に光栄でございます。

1. 終息しなかったコロナ禍

令和3年度は、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響が払拭できず、医療体制の逼迫から緊急事態宣言等も発令され、会合や移動の自粛が求められる状況が続きました。このため、誠に遺憾ながら、当クラブでの様々な行事のみならず会派間の交流行事も実行することができないまま、一年が終わろうとしています。

そういった状況下においても、貴クラブの井澤幹事長および日本弁理士クラブの中村幹事長とは、折に触れてZoom会議で意見交換をさせて頂きました。Zoom等のWeb会議はコロナ禍2年目の現在では基本的なインフラになったと言っても過言ではないでしょう。対面会議には劣るものの、少人数では意思疎通にはほぼ問題がなく、必要があれば当日でもすぐに会議を開けることが、地方在住の身としては非常に助かりました。コロナ禍が無事に終息した後も、リアル会合とWeb会議をうまく使い分けて、会派間のコミュニケーションをとらせて頂ければ願っております。

しかし、旅行会や各種祝賀会は、やはりバーチャルではなくリアルで実現したいものです。来年こそは、リアル会合で貴クラブの皆様にお目にかかれまうよう祈るばかりです。

2. 役員選挙

今年度は、無会派からの立候補者が1名あったために副会長選挙に突入し、事前の票読みでは会派推薦の候補者が勝てると思ったものの、コロナ禍で投

票率がどのように変わるか分からないなど、予断を許さない状況でありました。しかし、今年は会派が一致団結して全員当選を達成するという強い信念の下で三派が協力し、副会長選挙においては、無事に会派推薦の候補者全員を当選させることができました。この選挙の結果は非常に喜ばしく、貴クラブの会員の全ての先生方のご協力に心より感謝申し上げます。

最近では、企業内弁理士が増え、会派に所属しない弁理士も多くなっています。しかし、弁理士会を牽引するリーダーシップを持った役員を輩出し、役員をバックアップして弁理士会を効率良く運営していくためには、やはり組織の力が必要です。今後も会派が話し合い、協力し合うことが重要であると考えます。

3. 来年度に向けて

何よりもコロナ禍の早期集束を願ってはおりますが、完全にコロナ前の状態に戻る日が来るにはまだまだ時間がかかるのかも知れません。しかし、前述のように、Web会議の普及など、コロナ禍が契機となって日本弁理士会や各会派の運営方法が改善されたと捉えることもできます。今までは地理的な理由から主に関東圏内の会員に会務の労を取っていただいておりますが、日本全国の会員が会務に参加することが容易になりました。杉村純子次年度会長が政策として掲げる各地域の活性化ないし連携強化を、杉村会長の任期2年目にさらに充実させるために、弊クラブは積極的に協力させて頂きたいと考えております。貴クラブの先生方にも、ご理解とご協力を頂きたく、どうぞ宜しくお願い致します。

来年度の弊クラブの幹事長は、北原宏修が務めさせて頂きますので、貴クラブの皆様からのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年一年を振り返って



弁理士同友会幹事長
吉田 倫太郎

令和3年度弁理士同友会幹事長を務めさせていただきました吉田倫太郎です。機関誌「連合」の発行に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

今年は、7月～8月にかけて、開催が延期されていきました東京2020オリンピック・パラリンピックが無観客で開催されました。また、新型コロナウイルス感染症が拡大し、一時期、東京都の感染者数が2万人を超える事態もあり、年初から9月30日までのほとんどの間、緊急事態宣言が発令されていた状態でした。そのような通常とは異なる不自由な状況下で、井澤連合幹事長をはじめ連合クラブ執行部の先生方には、他会派との折衝、会務運営等の舵取りをしていただき感謝申し上げます。

今年一年を振り返ってみますと、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ、連合クラブの弁理士が共同請求人となって開催した臨時総会が印象に残っております。私は、日常にある業務こなすことに頭をとられていました。ですが、弁理士法に定められた業務を専権とする弁理士にとって、業務を守っていくこと、拡げていくことがどれだけ大きな影響を及ぼすのかを考えさせられました。また、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブの各会派と、弁理士会執行部とが協力体制を取っていくことの重要性も強く感じました。コロナ禍で他会派や弁理士会執行部との調整が難しい状況でも情報収集、意見交換、説明会の開催等を行っていただいた井澤連合幹事長には深く感謝いたします。

また、日本弁理士会の役員定時選挙では、立候補届の提出期限の段階で、監事の立候補者数が定員でしたが、副会長選、常議員選にはそれぞれ、会派に所属していない方が1名ずつ立候補し、それぞれ定員を1名ずつオーバーしておりました。今年は、副会長選と常議員選とは別々の選挙との見解が強くありました。また会派全体にとってむやみに選挙する

ことは望ましくないため、弁理士同友会は弊会推薦の立候補者に立候補撤回届を提出していただき、常議員選を回避いたしました。これに際して、日本弁理士クラブとの折衝や情勢の収集など様々な調整をしていただき感謝しております。

他方、副会長選については投票選挙となりました。会派に所属していない方が立候補したことにより生じたわけですが、落選できない状況の中で、日本弁理士クラブや西日本弁理士クラブとの折衝や選挙情勢の収集など様々な調整を行っていただきました。井澤連合幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの先生方には、時間がない中で、献身的にご対応いただき、本当にありがとうございました。

また、美川公司幹事長をはじめとする弁理士クラブの先生方におかれましても、意見交換の場における当会からの協力のお願ひに対し、快く応じて下さり、誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

この選挙運動を通じて実感したことは、弁理士連合クラブや、それを形成する単位会派である弁理士クラブや当会が存在する意味とその大切さです。会派離れが呼ばれて久しいですが、会派に所属する皆様の協力がなければ、選挙を戦うことはできませんし、ひいては、日本弁理士会の会務運営も円滑に行うことができません。今後も役員定時選挙は、選挙ありきの状態が続くように思われますが、本年度の副会長投票選挙は、会派の存在意義を再確認するよい機会になったように思います。

最後に、井澤幹幹事長をはじめとする弁理士連合クラブの先生方、並びに美川公司幹事長をはじめとする弁理士クラブの先生方から、弁理士同友会に賜りました多大なご支援、ご協力に対し、改めて深く感謝を申し上げます。私からのご挨拶させていただきます。

コロナ禍の一年からポストコロナへ

弁理士クラブ幹事長
美川 公司



令和3年度弁理士クラブ幹事長を務めました美川公司です。機関誌「連合」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

井澤幹幹事長をはじめとした弁理士連合クラブ執行部の先生方には、この一年、大変お世話になりました。

特に、年度当初の他士業との間の業際問題への対応においては、弁理士連合クラブを含むいわゆる三派間の意思疎通及び調整、並びにそれらの結果の弁理士クラブ及び弁理士同友会への迅速な情報共有にご尽力頂きました。そしてこれらの結果、初めての経験となる会員主導による日本弁理士会臨時総会の開催を実現することができました。これらの事案への対応につきましては、前例がないがゆえの困難なことが数多くあったと推察致しますが、それぞれに対して適切なご対応を頂いた結果、予想以上の成果が得られたものと考えます。特に、弁理士連合クラブ、弁理士クラブ及び弁理士同友会三者間の情報共有及び意思確認は、極めて円滑且つ必要十分なものであったと考えます。

また、本年度の日本弁理士会の役員選挙におきましては、弁理士クラブ及び弁理士同友会それぞれからの推薦を受けた候補者を当選させることができ、初期の目的を達成することができました。特に、弁理士連合クラブ執行部の先生方には、弁理士クラブと弁理士同友会との間の選挙協力の円滑な遂行にご尽力頂きました。

このように、例年以上の日本弁理士会への貢献が実現できたのも、井澤幹幹事長をはじめとした弁理士連合クラブの先生方の多大なるご尽力があったからこそであり、心より感謝申し上げます。

本年度を全般的に振り返りますと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年度に引き続き、

例年行われていた旅行会等、多くの活動が制限される結果となりました。これにより、所属する多くの弁理士の皆様と実際に顔を合わせて交流する機会も制限され、人と人との繋がりが不十分とならざるを得なくなった年であったと考えます。しかしながら一方で、種々の制限があるがゆえに各会員が知恵を出し合ったことにより、特にオンラインを活用した新たなコミュニケーション方法が一般化するようになり、地域や年代を越えた幅広いコミュニケーションが可能となった年でもありました。これにより、特にこれまで直接顔を合わせることが難しかった会員同士の新たな繋がりが促進された年でもあったと考えます。そして今後は、いわゆるポストコロナにおける会務活動のあるべき姿が議論されていくものと考えますが、このような会派活動に当たっては、これまで試行的に行われていた種々の新たなコミュニケーション方法を状況に合わせて活用し、実際に顔を合わせて行うコミュニケーションと共に柔軟且つ広範囲なコミュニケーションを図り、これらにより、今までよりも更に広い範囲での会員同士の繋がりを拡充・強化していくことが重要だと感じます。

弁理士を取り巻く環境が厳しさを増す中、日本弁理士会が果たすべき役割の重要性が従来にも増して拡がりつつあり、日本弁理士会を支える会派の重要性も日ごとに増しているところだと実感しております。しかしながら一方で、会派に所属している弁理士の数の推移をみますと、会派の重要性を認識している弁理士の数が減少傾向にあるように思われます。このような現状を踏まえ、弁理士連合クラブには、今後も、日本弁理士会への更なる貢献を果たし、会派の重要性をより多くの弁理士に広く認識してもらえような会派活動をして頂くことを期待しております。

コロナ禍の一年を振り返って

日本弁理士会副会長
笹野 拓馬



1. はじめに

弁理士連合クラブの推薦をいただき、令和3年度日本弁理士会副会長を務めさせていただいております笹野拓馬です。

弁理士連合クラブの皆様には、日ごろからご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度の執行役員会は、昨年度から続くコロナ禍の終息が見通せない中での会務運営を余儀なくされており、試行錯誤しながら会務を行っております。附属機関や委員会等は、ウェブ会議システムの利用を原則とさせていただいており、皆様と直接お会いしてご意見をお伺いする機会がなかなか持てない状態となっておりますが、皆様のご期待に添えるように任期の最後まで精一杯努めてまいります。

2. 会務報告

私が担当しております附属機関、委員会等につきまして、これまでの活動を簡単にご報告させていただきます。

【広報センター】

広報センターでは、ノベルティグッズの作成、マスメディアへの情報発信、日本弁理士会ホームページの管理、会誌「パテント」や広報誌「パテント・アトニー」の発行等の事業を実施するとともに、平成29年に策定した「短中期広報戦略」に基づき、5年間で「弁理士の名称認知度10%向上」を目標に戦略的な広報事業を展開しています。4年目を迎える本年度は、昨年度に引き続き、

「秘密結社 鷹の爪」を主力コンテンツとする株式会社ディー・エル・イーとコラボレートして、12月6日より、オリジナルキャラクター「ニバンセンジ」の新しいYouTube動画の配信を開始するとともに、特設サイトをリニューアルオープンしております。また、会誌「パテント」につきましては電子書籍化を令和4年1月から実施致します。電子書籍は、電子フォーラムに格納されますので、掲載された際にはご確認をお願い致します。

【防災会議】

日本弁理士会の防災体制は、これまで主に地震による災害を想定して策定してきましたが、近年では、地震の他にも、台風や豪雨による河川の氾濫など、風水害も多く発生するようになり、既に、本年度も多くの災害が発生しております。防災会議では、このような様々な災害に対して、迅速に対応できるように防災体制の検討・整備等を進めております。

【意匠委員会】

令和元年の意匠法の大改正によって、関連意匠制度が拡充され、また、これまで保護対象ではなかった画像自体や建築物・内装の意匠が保護できるようになるなど、意匠を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような変化にしっかりと対応できるように、意匠委員会では、例年に引き続き、意匠制度についての政策提言を行うとともに、意匠制度の利活

用を促進するため、会員への周知活動を積極的に行っております。

【著作権委員会】

著作権委員会は、著作権制度に関する政策提言、最近の著作権に関する重要判決の調査・研究、Webサイト「弁理士の著作権情報室」の管理運営、写真雑誌における著作権に関する記事監修など、多岐にわたる活動を行っています。また、本年度は、著作権法が改正されたことに関連して、文化庁から多くの意見募集が行われており、そのすべてについて精力的に対応しています。

【情報企画委員会】

情報企画委員会は、日本弁理士会のITインフラの検討・整備等を担当していますが、本年度は、会員の個人情報や事務所情報等を管理している会員情報管理システムを再構築し、令和4年4月から運用を開始できるように準備しています。また、DX化が推進されている現状を踏まえ、日本弁理士会事務局内部の業務のデジタル化を進めることができないか、検討を行っております。

【東北会】

東北会は、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島 の6県を所管し、当該地域における知的財産制度の普及・啓発活動を担っています。例年に引き続き、知的財産セミナーの実施や知財授業及びセミナーへの講師派遣を行っており、また、本年度は、令和4年度以降に東北全県において知的財産相談会を開催すべく、その準備活動を進めています。コロナ禍で東北会の皆様とは、対面でお会いする機会がなかなか持てておりませんが、東北会と本会、それぞれの情報を互いに共有できるように密に連絡を取るよう努めています。

3. おわりに

3月末の任期まで残り少なくなってきましたが、副会長の職責を全力で全うする所存ですので、引き続き、ご指導・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



コロナ禍における会務

日本弁理士会副会長
永岡 重幸



1. はじめに

弁理士連合クラブの会員の皆様には、日頃から日本弁理士会会務へのご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。昨年弁理士連合クラブのご推薦を頂戴し、副会長に就任してから約9ヶ月が経過しました。今年度の会務は昨年度と同様に「コロナ禍での会務」になっています。色々な制約を受けながら行ってきた4月から12月までの会務を振り返りつつ、残りの3ヶ月間の会務についても言及したいと思います。

2. 国際活動センター

国際活動センターの活動のうち、国際会議への会員派遣及び海外知財団体との交流イベント（セミナーを含む）は、全てオンラインで行っています。主なものを挙げると、WIPOの会議への会員派遣、並びに欧州特許庁、米国知的財産権法協会、イギリス弁理士会、フランス弁理士会、中華商標協会、シンガポール弁理士会、米国特許庁、欧州連合知的財産庁、韓国弁理士会、中華専利代理師協会等との会合をオンラインで開催しました。オンライン開催によるメリットは、費用や移動時間などの負担を少なくして出席者人数を増やすことができることだと思います。国際活動センターの場合、リアルで会員を海外派遣する場合には予算の都合上2名程度しか派遣できないというケースもありますが、オンライン参加なら派遣費用が不要になりますので、5～10名の派遣をすることができます。移動時間は欧米に行く場合、片道10時間以上かかりますが、オンラ

イン参加なら実質ゼロです。また、海外の弁理士会等との交流会も、例えば、2～3年に1度開催していたものを、毎年開催することもできます。オンライン参加には上記したようなメリットがありますので、アフターコロナでも出来る限りオンライン参加をするという方針でよいと思います。尚、リアル開催でのイベントも勿論重要であり、例えば、中国商標協会との交流20周年行事（2022年予定）や韓国弁理士会との交流40周年行事（2022年予定）は、リアル開催に向けて今年度から準備を開始しています。

3. 貿易円滑化対策委員会

貿易円滑化対策委員会の主な活動は、模倣品対策や各国税関での水際対策に関する会合への参加及び情報収集等です。財務省関税局知的財産室や東京税関知的財産センターとの会合も毎年開催しております。さらに、国際知的財産フォーラム（IIPPF）、日本関税協会知的財産情報センター（CIPIIC）、コンテンツ海外流通促進協会（CODA）、世界関税機構（WCO）などの団体との会合にも参加しております。上記会合等により収集した情報を会員にフィードバックするためのセミナーも開催しています。悪質な個人輸入を商標法違反で取り締まることができるようになったことは、貿易円滑化対策委員会の活動の成果と言ってもよいかもしれません。今年度は、意匠委員会も東京税関と意見交換を始めました。模倣品対策等は、日本弁理士会の複数の委員会で横断的に対応する事項であると感じています。

4. 綱紀委員会

綱紀委員会は、弁理士から選任した委員と外部委員（弁護士、公証人、学識経験者、産業界の方）により構成され（32名、7部会）、会員に対する処分案件について処分理由（会則第49条第1項）に該当する事実が有るか否かを調査する委員会です。本年度も多数の事案を処理しております。事案の内容がデリケートであるため、議論はオンラインで行わず、綱紀委員会の委員の先生及び外部委員の先生にはリアル出席をお願いしております。

5. 審査委員会

審査委員会も、弁理士から選任した委員と外部委員（弁護士、公証人、学識経験者、産業界の方）により構成されています。綱紀委員会が処分理由ありと判断した場合、当該案件について審査委員会に会長からの送致があれば、審査委員会は、処分の方法について決議を行います。

6. おわりに

国民の約7割がワクチン接種を2回受け、10月には緊急事態宣言も解除になり、いよいよアフターコロナが見えてきたと思ったら、オミクロン変異ウイルスに注意すべしという状態になってしまいました。コロナ禍の収束時期は予測ができず、今後も行動範囲・行動時間が制限されることになります。日本弁理士会の会務の中にどのようなニューノーマルを形成していくのか、役員会が指針を示しつつ会員の皆様と一緒に考えていきたいと思っています。

以上



令和三年度の会務を振り返って

弁理士連合クラブ副幹事長
岸本 達人



令和三年度弁理士連合クラブ副幹事長を拝命しております岸本達人です。管掌は総務委員会と政策委員会となります。各委員会の職務は弁理士連合クラブ会則第19条に規定されておりますが、総務委員会は、弁理士連合クラブの運営総務全般を担当し、主として事業全般の管理、予算全体の管理、幹事会や総会の準備と開催が業務となります。政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、検討を担当し、主として弁理士会総会議案についての事前検討や意見提出、他会派との政策調整や議論などが業務となります。総務委員会は、委員長に笹川拓先生、副委員長に河部康弘先生に就任しました。政策委員会は、委員長に今堀克彦先生、副委員長に吉村俊一先生に就任しました。

さて、昨年初頭から続くコロナ禍は、この年末や落ち着いたを見せているものの、最新の変異種・オミクロン株の感染拡大が懸念されており予断を許さない状況が続いています。

その影響により、本年度も弁理士連合クラブの運営が大きく滞りました。執行部としては、例年なら1月に新年度の組織を立ち上げ、2月に第1回定時総会を開催すべきところ、昨年度同様、第1回幹事会・定時総会を9月に開催し、矢継ぎ早に日本弁理士会・令和4年度役員選挙の対応に追われ、11月に第2回幹事会・第1回臨時総会を開催するといった後手後手に回る1年でした。コロナ禍二年目なのに、昨年度の経験を活かせなかったことを悔やんでおります。

せっかく就任していただいた各委員会の委員長・委員の先生方におかれましては、制約あるなかで各自ご尽力いただいたにもかかわらず、クラブ全体としては停滞を許していたことを歯がゆい思いで見えられただろうと存じます。執行部の一人として、采配の不手際にお詫び申し上げます。

一方、選挙対応に関しましては、弁理士連合クラブの使命である三派間の調整を無事果たすことができました。三派関連行事・会議につきましては、本年度もリアル集会を開催できませんでしたが、三派のWEB会議を開催することにより意思疎通を図るだけでなく、井澤幹事長が日本弁理士クラブ及び西日本弁理士クラブと密に連絡を取ってくださり、また、弁理士同友会・吉田倫太郎幹事長及び弁理士クラブ・美川公司幹事長と調整を図ってくださったおかげをもちまして、選挙に大きな波を立てることなく終えることができました。井澤幹事長のご尽力には、大変感謝しております。

この原稿を書いている現在、本年度のクラブ運営も残すところ1ヶ月を切りました。井澤幹事長、茜ヶ久保・小國の両副幹事長におかれましては、クラブ運営につき私の至らぬ部分を補っていただきまして、ありがとうございました。

また、各委員会の委員長・委員、さらに会員の皆様におかれましては、本年度のクラブ運営にご協力いただきまして、ありがとうございました。次年度のクラブ運営に引き続きご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

コロナを様子見した1年

弁理士連合クラブ副幹事長
小國 泰弘



令和3年度弁理士連合クラブ副幹事長を仰せつかった小國です。担当は企画委員会及び研修委員会になります。

本来ですと、企画委員会が旅行会を開催し、そこで、研修委員会が研修を実施してきたわけですが、今年度も、昨年度と同様に、コロナ禍のため旅行会自体が中止となり、当然、研修も中止ということになってしまいました。ただ、企画委員会の仕事には、旅行会以外にも、弁理士連合クラブの会誌「連合」の発刊やホームページの更新もあり、これらの仕事は例年通りに進めることができました。

会報につきましては、企画委員会委員長の吉田倫太郎先生が中心となり、現在、弁理士会会長をはじめとして多くの先生方に原稿を依頼し、来年春の発刊を目指して、鋭意、活動中です。また、ホームページの更新につきましては、同委員会の副委員長の小越一輝先生のご尽力により更新することができました。両先生のご尽力にこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、このようにして本年度は過ぎてしまい、あまり活動実績を積むことはできませんでした。弁理士連合クラブ（以下「連合」）は、連合を構成する二つの会派（弁理士クラブと弁理士同友会）の親善を深め、一致団結して、弁理士会役員選挙、特に会長選挙に臨み、有為な人材を弁理士会に送り出してきました。そのためには両会派の協力は欠かせず、両派の会員の相互理解を深めるために対面での交流は欠かすことはできず、研修会や宴席、ゴルフ、観光といった企画が盛り沢山の旅行会は必要不可欠な

ものといえます。それにもかかわらず、このように大切な旅行会を、コロナ禍とはいえ、昨年度に続き本年度も開催することができなかったことは誠に残念なことです。来年度こそは、例年通りの活動が再開されんことを期待しています。

とはいっても、世間では、コロナが収束しても、コロナ禍前に戻ることはないだろうという予測もなされています。そうであれば、むしろ新しい交流の在り方を考えるのも大事なことといえます。このコロナ禍で、会議や研修、さらには懇親会すらも、Web形式で行われるようになりました。会場予約が不要で手軽に開催することが、移動に時間をかけずに済み、遠方でなかなか会うこともできない人とも話せるなど、様々な利点があります。コロナが収束したとしても、依然として、Web形式でのイベントの開催需要はあるかと考えます。

むろん、他人と、直接、会って、食事をし、会話を行うといったことに、人と人との仲を深める上で大きな効果があることは否定できません。ただ、コロナ禍前もそうでしたが、今日、各自の趣味やニーズは多様化している点も考慮すべきでしょう。従来どおりの大勢に人間が集まっての宿泊を伴う旅行会だけではなく、感染リスクの回避も考慮して、日帰り旅行会にするとか、参加者を絞った少人数のイベントを色々と開催するとかして、工夫を凝らしたイベントも今後は必要になるだろうと思います。

このように考えていきますと、本年度も当初から、コロナ禍でもできるような企画を考え、実行すべきだったのではないかと今さら悔やまれます。日々の

忙しさにかまけて過ごすうちに、結局、あまり多くのことができず、会員の先生方に十分満足できる活動の場所を提供することはできなかったことは反省すべきと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。来年度は新しい幹事長の元、両会派が一丸となって連合が活発に活動されることを祈っています。

最後に、この一年間ともに活動してきた、井澤幹事長、岸本達人副幹事長、及び茜ヶ久保公二副幹事長、さらには連合の会員の皆様に深く御礼申し上げます。一年間どうもありがとうございました。

以上



引き続きコロナ禍での一年を振り返って

弁理士連合クラブ副幹事長
茜ヶ久保 公二



井澤幹事長のもと、弁理士連合クラブの令和2年度副幹事長を務めました、弁理士同友会所属の茜ヶ久保公二です。本年度は、副幹事長として、役員協議委員会を担当させていただきました。弁理士連合クラブ会員の皆様のご協力のおかげで、一年間を過ごせましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

私は、本年度3月までは日本弁理士会の副会長を仰せついていた関係で、1月～3月の間は、ときに2つの立場が衝突しうような期間を過ごしました。特に、3月の臨時総会前は、本会執行部の一員として連合クラブの皆様へご説明させていただく機会では、副幹事長としての立場には立てない状況がありました。

4月以降は、コロナウイルス感染症の影響で、活動が制約されておりましたが、本会の役員選挙が近づくにつれ、連合の活動も、徐々に活発になってきました。

本年度は、井澤幹事長、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブの各幹事長が密に連絡を取ってくださったうえで、役員選挙に向けて三派会合を企画してくださいました。内容は、Zoomでの会合とSpatial Chatを用いた懇親会でした。いずれもバーチャルでの実施ではありましたが、役員選挙へ向け、三派が協力する体制が確立されたと思います。9月以降は、9月8日、9日及び16日と、間断なく立て続けに役員協議委員会が開催され、役員定時選挙に向け、弁理士クラブと弁理士同友会の会員との協議の場が持たれました。そうした活動の結果として、特に副会長候補選挙において弁理士クラブの岸本達

人先生、弁理士同友会の伊賀誠司先生をはじめとして三派からの候補者の無事の当選という成果が出たものと思っております。このような成果も、井澤幹事長、副幹事長の先生方、そして、役員協議委員会の委員の先生方をはじめとする会員の皆様のご協力のおかげです。また、日常の業務がお忙しい先生方が、このように密に会合を持てるのは、Zoomなどのオンライン会議システムがあるからこそであり、今後の選挙対応に当たっても、オンラインでの会合を持って密な連携が図れていければよいと考えます。

9月以降は、幹事会、総会、そして当選祝賀会が開催されましたが、やはりいずれもZoomを用いたオンラインでの開催となりました。しかしながら、コロナ禍も2年目に入り、Zoomを利用した会合に皆さんが熟達されてきており、いずれの会合もスムーズに進行されたものと思い、この点においても会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

この2年は、コロナ禍による活動の制約により、会員の皆様と直接顔をあわせる機会が極端に少なく、また、2年連続で旅行会が実施できていない状況に寂しさを感じております。来年こそは、ポストコロナとなって、通常どおりの会務となることを祈っております。

一年間どうもありがとうございました。

令和3年度弁理士連合クラブのあゆみ

(2021.1. 1 ~ 2021.12.31)

総務委員会 委員長 笹川 拓

- 令和3年 1月13日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 2月 2日 日本弁理士会 次年度人事委員会
- 2月17日 日本弁理士会 次年度人事委員会／関東会 次年度人事WG
- 3月 1日 三派説明会（令和2年度役員会より）
- 3月 2日 三派幹事長会
- 3月 3日 日本弁理士会 臨時総会（第2回）
- 3月 3日 三派懇親会
- 3月 5日 【緊急】十派説明会（令和2年度役員会より）
- 3月 8日 会則第88条第3項に基づく臨時総会の招集を請求
- 3月10日 機関誌『連合』第31号 発行及びホームページに掲載
- 3月15日 連合推薦役員による説明会
- 3月17日 三派幹事長会
- 3月24日 十派幹事長会
- 3月26日 日本弁理士会臨時総会（第3回）※会員による招集
- 第1号議案：日本行政書士会連合会との連携の件
- 日本行政書士会連合会との連絡協議会（仮称、以下同じ）の設置はせず、
設置に関する約束もしない。
- 4月 5日 三派説明会（令和3年度役員より）
- 4月12日 三派説明会（令和3年度役員より）
- 5月28日 日本弁理士会 定時総会
- 7月 2日 三派交流会・懇親会（第1回）Zoom
- 8月24日 三派交流会・懇親会（第2回）Zoom

- 9月14日 日本弁理士会役員選挙説明会
- 9月16日 第1回幹事会、第1回定時総会（オンライン）
令和4年度日本弁理士会役員（会長・副会長・監事・常議員）候補予定者の推薦の件
新型コロナウイルス感染症の影響により旅行会・研修会の中止決定
- 9月27日 令和4年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付・選挙運動開始
- 9月29日 令和4年度日本弁理士会役員定時選挙の立候補受付終了
- 10月28日 令和4年度日本弁理士会役員定時選挙
開票、開票結果公示、当選人の決定及び公示
- 11月19日 第1回総務委員会（メール会議）
- 11月25日 第2回幹事会、第1回臨時総会
令和4年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件
- 11月25日 連合主催 日本弁理士会役員定時選挙当選祝賀会
- 12月20日 三派交流会・懇親会（第3回）Zoom

総務委員会

委員長 笹川 拓

1. 委員会の構成

委員長 笹川 拓 (同友)
副委員長 河部 康弘 (弁ク)
委員 河合 利恵 (同友)
村野 直仁 (弁ク)
担当副幹事長 岸本 達人 (弁ク)

2. 職務権限

会員の連絡及び会議場所の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会の職務に属しない事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 総会及び幹事会その他、他の委員会以外の会議の会場の設営、開催の通知、及び会議の運営、委員会及び委員への連絡及び会計に関する事項の審議及びその実行
- (2) 特に定時総会の開催時期を中心として本会の会則改正の審議及び答申

4. 活動報告

- (1) 第1回幹事会及び第1回定時総会

開催日時 令和3年9月16日 (木)
18:30~19:30

場 所 井澤国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和4年度日本弁理士会役員 (副会長、常議員及び監事) 候補予定者の推薦について承認を求める件

②第2号議案

令和2年度弁理士連合クラブの事業報告について承認を求める件

③第3号議案

令和2年度弁理士連合クラブの会計報告について承認を求める件

④第4号議案

令和3年度弁理士連合クラブの事業計画について承認を求める件

⑤第5号議案

令和3年度弁理士連合クラブの予算について承認を求める件

- (2) 第1回臨時総会及び第2回幹事会

開催日時 令和3年11月25日 (木)
18:00~19:30

場 所 井澤国際特許事務所会議室
ウェブ会議 (Zoom)

議 案

①第1号議案

令和4年度弁理士連合クラブ役員の選任について承認を求める件

以上



政策委員会

委員長 今堀 克彦

1. 委員会の構成

委員長	今堀 克彦 (弁ク)
副委員長	吉村 俊一 (同友)
委員	古谷 史旺 (同友)
	小林 保 (同友)
	船津 暢宏 (弁ク)
	中川 裕幸 (弁ク)
	山川 茂樹 (弁ク)
	山本 晃司 (弁ク)
	丸山 英一 (同友)
	山崎 高明 (同友)
	絹谷 晴久 (弁ク)
	奥川 勝利 (弁ク)
	藤浪 一郎 (同友)
	瀧澤 匡則 (弁ク)
	奥村 光平 (弁ク)
	河部 康弘 (弁ク)
担当副幹事長	岸本 達人 (弁ク)

言、もしくは蔓延防止等重点措置下に置かれていたこともあり、十分な活動ができませんでした。誠に申し訳ございません。

次年度は感染症が収まり、活発な政策議論が進められることを願っております。

2. 職務

政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 日本弁理士会の政策に関する対応
- (2) 日本弁理士会の総会、常議員会の議案等への対応
- (3) 知的財産制度及び弁理士制度に関する検討、提言

4. 活動報告

本年度は、実質的な活動は行われませんでした。

5. 雑感

井澤連合幹事長、岸本連合副幹事長の下で、本年連合クラブの政策委員会の委員長を務めさせていただくことになりましたが、新型コロナウイルス感染症が広く拡大し、1年の3分の2程度が緊急事態宣



企 画 委 員 会

委員長 吉田 倫太郎

1. 委員会の構成

委員長 吉田 倫太郎（同友）
副委員長 小越 一輝（弁ク）
委員 須藤 淳（弁ク）
岩田 耕一（弁ク）
松本 直子（同友）
担当副幹事長 小國 泰弘（弁ク）

2. 職務権限

本会の運営の改善及び新規会員の増加対策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。

3. 諮問事項

- (1) 旅行会、ゴルフ大会、その他会員相互の親睦を図るための行事の企画及びその実行
- (2) 他会派との積極的な交流を図るための行事の企画及びその実行
- (3) 機関誌の発行
- (4) 弁理士連合クラブの組織活性化のための方策の立案及びその実行
- (5) 弁理士連合クラブのホームページの維持及び管理

4. 活動報告

- (1) 弁理士連合クラブ旅行会
本年度弁理士連合クラブ旅行会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
- (2) ホームページの維持、管理
弁理士連合クラブのホームページのコンテンツ（幹事長挨拶、組織図、年間行事）のアップデートを行った。

(3) 機関誌の発行

令和4年1月末にホームページを通じて発行する予定である。

5. 雑感

今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、弁理士連合クラブの一大イベントである旅行会が中止になりました。来年は、例年通り、旅行会を開催できることを切に望んでいます。



役員協議委員会

委員長 関 大 祐

1. 委員会の構成

委員長	関 大 祐 (同友)
副委員長	瀧 澤 匡 則 (弁ク)
委 員	山 川 茂 樹 (弁ク)
	高 田 大 輔 (同友)
	権 正 英 樹 (弁ク)
担当副幹事長	茜ヶ久保 公二 (同友)

2. 職務権限

日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙活動の統括を行う。

3. 委嘱事項

- (1) 令和4年度日本弁理士会役員選挙への対応
- (2) 令和4年度日本弁理士会役員当選祝賀会の企画及び実行

4. 活動報告

- (1) 6月17日付にて日本弁理士会選挙管理委員会から発行された「令和4年度役員定時選挙の実施要領」等を入手し、令和4年度役員選挙の日程を確認した。
- (2) 9月14日午後3時から日本弁理士会選挙管理委員会主催の選挙説明会に役員協議委員長及び副委員長らが出席し、選挙管理委員会から説明を聞くとともに、ガイドラインその他の資料を入手した。なお、本年度の説明会は、新型コロナウイルス感染症対策の為、会場の様子をオンライン配信するハイブリッド形式での開催となった。
- (3) 9月24日に第1回役員協議委員会を開催し、昨年度の選挙結果の振り返りと現時点での情報共有を行った。
- (4) 9月27日 立候補届け受付開始。当日に会派毎に立候補届けを日本弁理士会に提出し、選挙運

動を開始した。この時点では、副会長選挙の立候補者は選任数を1名超えていたが、常議員及び監事の各選挙の立候補者は選任数通りであった。

- (5) 9月28日に常議員（関東選挙区）の立候補者が1名増えたため、副会長選挙に加えて常議員選挙（関東選挙区）も立候補者数が1名オーバーとなった。
- (6) 9月29日午後5時 立候補届けの受付終了。
- (7) 10月1日午後5時 立候補届撤回届けの提出締切。当日午後1時頃に弁理士同友会の常議員（関東選挙区）候補者1名により立候補届撤回届けが提出された。これにより、常議員及び監事の各選挙の立候補者は再び選任数通りとなり、弁理士連合クラブ推薦の候補者全員の無投票による当選が確定した。一方、副会長選挙については立候補者数が選任数を1名超えたため、投票による選挙となる。
- (8) 10月1日に第2回役員協議委員会を開催し、現時点での集票状況についての情報共有と今後の選挙対策について協議した。
- (9) 10月12日 投票用紙発送（国内会員向け）。
- (10) 10月15日午後5時 選挙運動終了。
- (11) 10月16日～27日 投票期間。
- (12) 10月28日 開票及び開票結果の告示。開票の結果、伊賀誠司候補が543票、岸本達人候補が623票を獲得し、弁理士連合クラブが推薦する候補者はいずれも当選を果たした。なお、落選した候補者（非会派所属）の得票数は196票であった。
- (13) 11月25日に、新型コロナウイルス感染症対策の為、当選祝賀会をオンライン形式にて開催した。

本年は、昨年と同様に新型コロナウイルスの影響を受けて恒例の旅行会等の行事が中止となり、情報収集が難しい状況下での選挙戦となりました

が、三派（弁理士連合クラブ、日本弁理士クラブ、西日本弁理士クラブ）の幹事長同士が随時情報交換を行いながら選挙に臨みました。また、二度開催されたの協議委員会には弁理士同友会の吉田倫太郎幹事長及び弁理士クラブの美川公司幹事長にもご参加いただき、各会派内の情報交換や陣頭指揮を執っていただくことで、両会派同士でしっかりと連携して共に選挙戦を戦い抜きました。その結果、副会長選挙では、候補者本人の努力も勿論大きく影響しておりますが、両会派共に昨年を上回る票を獲得することができ、2名の副会長候補の当選を果たすことができました。当選者の皆様、大変おめでとうございます。

最後に、弁理士連合クラブ執行部の皆様、弁理士クラブの皆様、弁理士同友会の皆様、及び選挙活動にご協力頂いた皆様方の多大なるご協力及びご支援につきまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

5. 弁理士連合クラブ推薦の当選者

副会長	伊賀 誠司（同友）
副会長	岸本 達人（弁ク）
監 事	古谷 史旺（同友）
常議員（関東選挙区）	井上 一（弁ク）
常議員（関東選挙区）	田中 秀喆（同友）
常議員（関東選挙区）	石川 憲（同友）
常議員（関東選挙区）	張 華威（弁ク）
常議員（関東選挙区）	河部 康弘（弁ク）



研修委員会

委員長 三 浦 康 浩

1. 委員会の構成

委員長 三 浦 康 浩 (弁ク)
副委員長 谷 口 登 (同友)
委員 荻 弥 生 (同友)
永 井 望 (弁ク)

2. 職務権限

研修委員会は、弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修を行い、会員の啓蒙を行う。

3. 諮問事項

- (1) 弁理士制度、知的財産権制度、司法制度及び科学技術に関する研修の開催（弁理士としてのスキルアップ用研修の開催）
- (2) その他、必要があれば、連合会員にとって有益は研修の開催

4. 活動報告

本年度は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態が発生した旨の宣言が度々発出され緊急事態措置の実施に伴い、研修委員会としては研修活動の実施が困難な状況が続きました。このような状況下ではありますが、オンライン形式で研修会を次のとおりに執り行うことができました。

日時：第1回 令和3年7月2日（金）

18：30～19：30

第2回 令和3年7月16日（金）

18：30～19：30

講師：弁理士 張 華威 先生

（中国弁護士、中国弁理士、日本弁理士、
弁理士クラブ国際委員会委員長）

場所：Zoomミーティングによるウェビナー

内容：第1回「中国専利法第4次改正の概要と今

後の展望」：研修の前半では、改正法全体の概論と経過措置について解説しました。特に、部分意匠制度、意匠の国内優先権、存続期間延長制度、パテントリンケージ、開放許諾制度は新設された内容となっています。後半では、今後の展望ないし中国における近年の知財情勢について紹介しました。具体的には、中国の特許出願は世界5大特許庁（米国、欧州、中国、日本、韓国）の中でも5割以上を占め、且つ全世界の特許出願の4割以上を占めております。実用新案出願も全世界の95%以上を占め、意匠出願も過半数を占めております。中国の出願件数はコロナ禍においても大幅に増加しております。今回の法改正により権利者にとって一層有利な環境となり、且つ部分意匠の出願も認められ、出願件数は一層伸びる可能性が高いことが示唆されます。また、中国出願人によるPCT国際出願の件数も、2019年に米国を超えて世界首位になってから、2020年はさらに米国を突き放した結果となりました。

第2回「実務に直結！専利法第4次改正が権利行使に与える影響」：前半では、具体的に権利行使に関する以下の改正点について、詳しく解説しました。①損害賠償額の引き上げ（第71条関係）、②文書提出命令（第71条関係）、③行政執行力の強化（第68～69条関係）④消滅時効（第74条関係）、⑤技術評価書の提出主体の拡充（第66条関係）。後半では、訴訟に関する情勢を紹介しました。2020年の中国専利訴訟件数は著しい伸び率を記録しました。そして、日本、中国、米国の訴訟件数の比較を行いました。日本では全知財事件を含めて500件くらいしか訴訟が発生していないものの、海外での訴訟リスクに対する認識や訴訟経験が不足している可能性があることを示しました。最後に、今後はFTOの調査や訴訟に対する

備えとして確定日付を証明できる証拠の確保、そして他人の権利化を抑止するための防衛公開の重要性を強調しました。

5. おわりに

研修委員会では、今後オンライン形式による研修会の開催数を増やし、また集合形式による研修会についても環境を整え開催していく所存です。最後になりますが、研修会を開催するにあたりご支援、ご協力いただいた弁ク美川幹事長、弁ク国際委員会の皆様、オンライン研修にご参加くださった皆様に深く感謝申し上げます。



令和3年度弁理士連合クラブ

役員・委員長・副委員長・委員

幹事長 井澤 幹（同友）

副幹事長 岸本 達人（弁ク）（総務、政策）
小國 泰弘（弁ク）（企画、研修）
茜ヶ久保公二（同友）（役協、調整）

幹事 小川 眞一（同友） 今堀 克彦（弁ク） 梶 俊和（弁ク） 田辺 恵（同友）
権正 英樹（弁ク） 瀧澤 匡則（弁ク） 美川 公司（弁ク） 小越 一輝（弁ク）
松本 直子（同友） 吉田倫太郎（同友） 河合 利恵（同友） 河部 康弘（弁ク）
三浦 康浩（弁ク）

監事 真田 修治（弁ク） 長内 行雄（同友）

相談役 原田 信市（同友） 古谷 馨（弁ク） 菊池 新一（同友） 山川 政樹（弁ク）
小池 晃（同友） 絹谷 信雄（弁ク） 田辺 敏郎（同友） 古谷 史旺（同友）
伊藤 進（弁ク） 小林 正治（同友） 須山 佐一（弁ク） 中島 淳（弁ク）
木下 實三（弁ク） 吉田 芳春（同友） 永井 義久（弁ク） 川久保新一（弁ク）
渡邊 一平（弁ク） 小川 眞一（同友） 鈴木 知（弁ク） 山川 茂樹（弁ク）
山本 晃司（弁ク） 丸山 英一（同友） 粕川 敏夫（同友） 塩野谷英城（弁ク）
石川 憲（同友）

【総務委員会】

委員長 笹川 拓（同友）
副委員長 河部 康弘（弁ク）
委員 河合 利恵（同友） 村野 直仁（弁ク）

【政策委員会】

委員長 今堀 克彦（弁ク）
副委員長 吉村 俊一（同友）
委員 古谷 史旺（同友） 小林 保（同友） 船津 暢宏（弁ク） 中川 裕幸（弁ク）
山川 茂樹（弁ク） 山本 晃司（弁ク） 丸山 英一（同友） 山崎 高明（同友）
絹谷 晴久（弁ク） 奥川 勝利（弁ク） 藤浪 一郎（同友） 瀧澤 匡則（弁ク）
奥村 光平（弁ク） 河部 康弘（弁ク）

【企画委員会】

委員長 吉田倫太郎（同友）
副委員長 小越 一輝（弁ク）
委員 須藤 淳（弁ク） 岩田 耕一（弁ク） 松本 直子（同友）

【役員協議委員会】

委員長 関 大祐（同友）
副委員長 瀧澤 匡則（弁ク）
委員 山川 茂樹（弁ク） 高田 大輔（同友） 權正 英樹（弁ク）
（弁ク・1名、同友 3名補充予定）

【調整委員会】

委員長 梶 俊和（弁ク）
副委員長 長内 行雄（同友）
委員 船津 暢宏（弁ク） 權正 英樹（弁ク） 美川 公司（弁ク）
（同友2名補充予定）

【研修委員会】

委員長 三浦 康浩（弁ク）
副委員長 谷口 登（同友）
委員 荻 弥生（同友） 永井 望（弁ク）

弁理士連合クラブ歴代役員

【昭和62年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない

選挙対策委員会

委員長 佐々木功

【平成元年度】

幹事長 古谷 馨
副幹事長 佐々木功 佐藤孝雄 原田信市
幹事 磯野道造 菊池新一 絹谷信雄
志賀正武 下田容一郎 武田賢市
土橋 皓 中山 清 丹波宏之
古谷史旺 山川政樹 米屋武志
監事 安達房次郎 須田孝一郎

【昭和63年度】

幹事長 山川政樹
副幹事長 佐々木功 志賀正武 下田容一郎
幹事 天野 泉 伊藤 進 岡田英彦
菊池新一 絹谷信雄 佐藤孝雄
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 古谷 馨 米屋武志
監事 佐々木秋市 丹波宏之
顧問 当分の間置かない
総務委員会
委員長 山元俊仁

総務委員会

委員長 須山佐一
副委員長 吉田精孝
委員 大原拓也 恩田浩宣 大貫和保
小倉正明 高橋康夫 田辺敏郎
仁平 孝 渡邊喜平

政策委員会

委員長 原田信市
副委員長 守谷一雄
委員 天野 泉 黒田博道 紺野正幸
竹内 裕 竹山宏明 戸村 隆
松田雅章 真田修治

政策委員会

委員長 磯野道造
副委員長 小田治親
委員 黒川弘朗 竹内 裕 秋山 修
守谷一雄 須山佐一 木下實三
三澤正義 羽村行弘

企画委員会

委員長 唐木浄治
副委員長 木村高久
委員 山崎輝緒 齋藤美晴 佐藤幸男
渡部敏彦 古谷史旺 大津洋夫
小林正治 今野耕哉

企画委員会

委員長 紺野正幸
副委員長 森 哲也
委員 大貫和保 黒田博道 田辺敏郎
辻 実 中山伸治 松田雅章
村田幹雄 渡邊喜平

選挙対策委員会

委員長 丹羽宏之

【平成2年度】

幹事長 佐々木功
副幹事長 菊池新一 佐藤孝雄 下田容一郎
天野 泉 小池 晃 絹谷信雄
木下實三 紺野正幸 志賀正武
土橋 皓 中畑 孝 中山 清
原田信市 山川政樹 米屋武志
監事 秋本正實 武田賢市

総務委員会

委員長 小林正治
副委員長 山崎輝緒
委員 加藤和詳 五十嵐和壽 木村高久
竹山宏明 齋藤美晴 本田 崇
仁平 孝 羽村行弘

政策委員会

委員長 下田容一郎
副委員長 坂口信昭
委員 秋元芳雄 飯田昭夫 積田輝正
中島 淳 原田信市 三澤正義
守谷一雄 山元俊仁

企画委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 渡部敏彦
委員 唐木浄治 黒田博道 桑原 稔
永井義久 仁科勝史 松田雅章
本宮照久 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 絹谷信雄

【平成3年度】

幹事長 菊池新一
副幹事長 米屋武志 下田容一郎 佐藤孝雄
幹事 天野 泉 磯野道造 絹谷信雄
志賀正武 武田賢市 土橋 皓
中島 淳 中山 清 原田信市
古谷史旺 山川政樹 山元俊仁
監事 小田治親 佐々木功

総務委員会

委員長 吉田精孝
副委員長 木村高久

委員 井上誠一 桑原 稔 坂本光雄
富田和子 羽村行弘 森正 澄
八鍬 昇 渡部敏彦

政策委員会

委員長 中島 淳
副委員長 坂口信昭
委員 五十嵐和壽 伊藤 進 大賀眞司
黒田博道 今野耕哉 竹内 裕
三澤正義 紺野正幸

企画委員会

委員長 黒川弘朗
副委員長 齋藤美晴
委員 秋山 修 北村 仁 小林正治
竹山宏明 鳥羽 修 山口邦夫
吉田芳春 渡邊一平

選挙対策委員会

委員長 佐藤孝雄
副委員長 天野 泉
委員 大塚明博 木下實三 下田容一郎
須山佐一 永井義久 中澤健二
中畑 孝 中山伸治

【平成4年度】

幹事長 原田信市
副幹事長 志賀正武 絹谷信雄 中島 淳
幹事 伊藤 進 菊池新一 木下實三
佐藤孝雄 下田容一郎 須山佐一
田辺敏郎 戸村 隆 古谷史旺
山崎輝緒 山本彰司 米屋武志
監事 磯野道造 紺野正幸

総務委員会(担当 中島)

委員長 黒川弘朗
副委員長 永井義久
委員 大島陽一 小川利春 高橋康夫
平山一幸 小倉正明 坂本光雄
竹山宏明 山本義明

政策委員会(担当 志賀)

委員長 佐藤孝雄
副委員長 戸村 隆
委員 内田和男 紺野正幸 齋藤美晴
守谷一雄 天野 泉 今野耕哉

坂口信昭 本田 崇

企画委員会(担当 絹谷)

委員長 吉田芳春

副委員長 関口俊三

委員 川久保新一 富田和子 牧野剛博
村上光司 井澤 洵 鈴木次郎
西浦嗣晴 米山淑幸

選挙対策委員会(担当 原田)

委員長 中島 淳

副委員長 竹内 裕

委員 仁平 孝 松山圭佑 山田明信
渡邊喜平 大塚明博 田辺敏郎
古谷史旺 米屋武志

【平成 5 年度】

幹事長 絹谷信雄

副幹事長 磯野道造 武田賢市 中島 淳

幹事 (桜門) 井澤 洵 田辺敏郎
森哲也 大橋 弘
山本彰司 小池 晃
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
木村高久 佐藤孝雄
仁平 孝 山崎輝緒

監事 吉田精孝 中山 清

総務委員会(担当 磯野道造)

委員長 仁平 孝

副委員長 今野耕哉

委員 (桜門) 羽村行弘 大塚明博
土川 晃 坂本光雄
(弁ク) 川久保新一 富田和子
油井 透 村上光司

政策委員会(担当 中島 淳)

委員長 天野 泉

副委員長 渡邊喜平

委員 (桜門) 中山伸治 坂口信昭
黒川弘朗 川村恭子
(弁ク) 黒田博道 笹井浩毅
遠山 勉 西森浩司

企画委員会(担当 武田賢市)

委員長 木村高久

副委員長 秋山 修

委員 (桜門) 長内行雄 飯田昭夫
仁科勝史 吉田芳春
(弁ク) 佐藤孝雄 布施行夫
真田修治 石橋佳之夫

選挙対策委員会(担当 絹谷信雄)

委員長 唐木浄治

副委員長 守谷一雄

委員 (桜門) 恩田博宣 本田 崇
古谷史旺 森哲也
(弁ク) 三澤正義 内田和男
山田明信 石川泰男

【平成 6 年度】

幹事長 米屋武志

副幹事長 天野 泉 守谷一雄 木下實三

幹事 (弁ク) 木村高久 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
三澤正義 永井義久
(同友) 森 哲也 大橋 弘
黒川弘朗 小池 晃
吉田精孝 小林正治

監事 (弁ク) 小田治親
(同友) 山本彰司

総務委員会(担当 守谷一雄)

委員長 田中雅雄(同友)

副委員長 黒田博道(弁ク)

委員 (弁ク) 原田 寛 北村 仁
渡邊一平 井上 一
(同友) 今野耕哉 小倉正明
本田 崇 竹山宏明

政策委員会(担当 天野 泉)

委員長 木下實三(弁ク)

副委員長 古谷史旺(同友)

委員 (弁ク) 佐藤孝雄 紺野正幸
真田修治 齋藤美晴
(同友) 天野 泉 坂口信昭
大塚明博 吉田芳春

企画委員会(担当 木下實三)

委員長 秋山 修(同友)

副委員長 永井義久(弁ク)

委員 (弁ク) 渡部敏彦 川久保新一
布施行夫 関口宗昭

(同友) 米山叔幸 旦 武尚
羽村行弘 桑原 稔

選挙対策委員会(担当 天野 泉)

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 中澤健二(同友)
委員 (弁ク) 村田幹夫 牛木 護
石川泰男 半田昌男
(同友) 積田輝正 中山伸治
本宮照久 飯田昭夫

連絡協議特別委員会(担当 米屋武志)

委員長 仁平 孝(弁ク)
副委員長 井澤 洵(同友)
委員 (弁ク) 中島 淳 黒田博道
(同友) 菊池新一 吉田精孝

【平成 7 年度】

幹事長 佐藤孝雄(弁ク)
副幹事長 小池 晃(同友)
古谷史旺(同友)
伊藤 進(弁ク)
幹事 (同友) 井澤 洵 田中雅雄
田辺敏郎 中山伸治
羽村行弘 吉田精孝
(弁ク) 須山佐一 中島 淳
永井義久 仁平 孝
三澤正義 守谷一雄
監事 (同友) 積田輝正
(弁ク) 土橋 皓

総務委員会(担当 小池 晃)

委員長 石川泰男(弁ク)
副委員長 小林 保(同友)
委員 (同友) 伊賀誠司 長内行雄
花村 太 山本義明
(弁ク) 井上誠一 黒田 壽
塩田辰也 西森浩司

政策委員会(担当 古谷史旺)

委員長 小倉正明(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク)
委員 (同友) 田村榮一 仁科勝史
本田 崇 森 哲也
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
服部雅紀 松田雅章

企画委員会(担当 伊藤 進)

委員長 井上 一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委員 (同友) 大貫和保 桑原 稔
中村盛夫 米山淑幸
(弁ク) 関口宗昭 佐藤年哉
保立浩一 山口邦夫

選挙対策委員会(担当 佐藤孝雄)

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク)
委員 (同友) 秋山 修 天野 泉
大塚明博 山田智重
(弁ク) 遠山 勉 木下實三
渡邊一平 渡邊喜平

【平成 8 年度】

幹事長 小池 晃(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク) (政策・弁ク担当)
三澤正義(弁ク) (総務・人事担当)
大橋 弘(同友) (企画・同友担当)
幹事 (弁ク) 下田容一郎 木村高久
伊藤 進 紺野正幸
木下實三 黒田博道
(同友) 恩田博宣 古谷史旺
坂口信昭 本田 崇
小林正治 田中雅雄
監事 山元俊仁(弁ク) 吉田精孝(同友)
相談役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志

総務委員会(担当 三澤正義)

委員長 秋山 修(同友)
副委員長 真田修治(弁ク)
委員 (弁ク) 西森浩司 川久保新一
井上 一 保立浩一
(同友) 中里浩一 桑原 稔
神崎正浩 米山叔幸

政策委員会(担当 須山佐一)

委員長 伊藤 進(弁ク)

副委員長 仁科勝史(同友)
 委 員 (弁ク) 仁平 孝 北村 仁
 青木輝男 遠山 勉
 (同友) 森哲 也 小林 保
 五十嵐和壽 羽村行弘

企画委員会(担当 大橋 弘)
 委 員 長 坂本光雄(同友)
 副委員長 井上誠一(弁ク)
 委 員 (弁ク) 紺野正幸 岡本啓三
 開口宗昭 黒田 壽
 (同友) 大貫和保 中村盛夫
 中村和年 旦 武尚

研修委員会(担当 大橋 弘)
 委 員 長 高月 猛(同友)
 副委員長 井上 一(弁ク)
 委 員 (弁ク) 中川裕幸 伊藤嘉昭
 (同友) 本田 崇 山田智重

選挙対策委員会(担当 小池 晃)
 委 員 長 木下實三(弁ク)
 副委員長 中山伸治(同友)
 委 員 (弁ク) 土橋 皓 渡邊一平
 黒田博道 山口邦夫
 (同友) 黒川弘朗 八鍬 昇
 小倉正明 伊賀誠司

【平成9年度】

幹 事 長 木下實三(弁ク)
 副幹事長 竹内 裕(同友)
 (総務・10周年(主)担当)
 田辺敏郎(同友)

(企画・研修・10周年担当)
 永井義久(弁ク)
 (政策・選対・10周年担当)

幹 事 (弁ク) 石川泰男 黒田博道
 紺野正幸 須山佐一
 中島 淳 三澤正義
 (同友) 秋山 修 大塚明博
 大貫和保 小倉正明
 坂本光雄 中澤健二

監 事 丹羽宏之(弁ク) 羽村行弘(同友)
 相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 佐藤孝雄
 (同友) 田中武文 原田信市

佐々木功 菊池新一
 米屋武志 小池 晃

総務委員会(担当 竹内 裕)
 委 員 長 川久保新一(弁ク)
 副委員長 米山淑幸(同友)
 委 員 (弁ク) 井上誠一 加藤和詳
 黒田 壽 笹井浩毅
 (同友) 秋山 修 桑原 稔
 菊池 徹 中村信彦

政策委員会(担当 永井義久)
 委 員 長 吉田精孝(同友)
 副委員長 内田和男(弁ク)
 委 員 (弁ク) 紺野正幸 布施行夫
 保立浩一 三品岩男
 (同友) 大塚明博 仁科勝史
 小倉正明 飯田昭夫

企画委員会(担当 田辺敏郎)
 委 員 長 西森浩司(弁ク)
 副委員長 長内行雄(同友)
 委 員 (弁ク) 青木輝男 石橋佳之夫
 世良和信 山口邦夫
 (同友) 坂本光雄 旦 武尚
 小川眞一 松下 満

選挙対策委員会(担当 永井義久)
 委 員 長 中山伸治(同友)
 副委員長 伊藤 進(弁ク)
 委 員 (弁ク) 黒田博道 齋藤美晴
 須山佐一 渡邊喜平
 (同友) 吉田芳春 黒川弘朗
 神崎正浩 藤井稔也

研修委員会(担当 田辺敏郎)
 委 員 長 石川泰男(弁ク)
 副委員長 中里浩一(同友)
 委 員 (弁ク) 井上 一 木村高明
 塩田辰也 遠山 勉
 (同友) 大塚明博 小林 保
 西野茂美 大賀眞司

10周年記念事業実行委員会
 (担当 竹内裕(主)、田辺敏郎、永井義久)
 委 員 長 天野 泉(同友)
 副委員長 (弁ク) 井上誠一 内田和男

委員 (同友) 須山佐一 遠山 勉
油井 透
(同友) 唐木浄治 積田輝正
羽村行弘 吉田芳春
(同友) 青木輝男 伊藤 進
大島陽一 木村高久
黒田博道 黒田 壽
齋藤美晴 笹井浩毅
下田容一郎 中島 淳
中山 清 服部雅紀
布施行夫 三澤正義
山口邦夫
(同友) 井澤 洵 大橋 弘
大塚明博 菊池 徹
坂本光雄 坂口信昭
丸山英一 田中雅雄
旦武 尚 中澤健二
古谷史旺 山本彰司
山田智重 吉田精孝
米山淑幸

総務委員会(担当：須山佐一)
委員長 小倉正明(同友)
副委員長 渡邊一平(同友)
委員 (同友) 清水敬一 中村盛夫
旦 武尚 伊賀誠司
(同友) 山口邦夫 井上誠一
下田 茂 内田和男

政策委員会(担当：吉田精孝)
委員長 中島 淳(同友)
副委員長 小林正治(同友) 笹井浩毅(同友)
委員 (同友) 青木輝夫 山口邦夫
黒田 壽 大橋邦彦
布施行夫 保立浩一
半田昌男 阪本清孝
藤野清規 原田 寛
(同友) 伊賀誠司 小倉正明
恩田博宣 唐木浄治
小池 晃 清水敬一
旦 武尚 原田信市
古谷史旺 米山淑幸
(監事兼任) (同友) 井澤 洵 中澤健二
本田 崇 小川眞一
五十嵐和壽
(同友) 小田治親 伊藤 進
仁平 孝 真田修治
渡邊喜平 井上 一

【平成10年度】

幹事長 田辺敏郎(同友)
副幹事長 吉田精孝(同友)
(政策、役員協議担当)
木村高久(同友)
(企画、研修担当)
須山佐一(同友)
(総務、渉外関係担当)

幹事 (同友) 小林正治 井澤 洵
中澤健二 本田 崇
小川眞一 五十嵐和壽
(同友) 小田治親 伊藤 進
仁平 孝 真田修治
渡邊喜平 井上 一

監事 土橋 皓(同友) 大橋 弘(同友)

相談役 (同友) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 佐藤孝雄
木下實三
(同友) 田中武文 原田信市
佐々木功 菊池新一
米屋武志 小池 晃

企画委員会(担当：木村高久)
委員長 大塚明博(同友)
副委員長 小川利春(同友)
委員 (同友) 長内行雄 小林 保
坂本光雄 羽村行弘
(同友) 石橋佳之夫 牧 哲郎
渡部敏彦 西森浩司

役員協議委員会(担当：吉田精孝)
委員長 守谷一雄(同友)
副委員長 羽村行弘(同友)
委員 (同友) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
木下實三 真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

研修委員会(担当：木村高久)
委員長 大貫和保(同友)

副委員長 柿本恭成(弁ク)
委 員 (同友) 小川眞一 鈴木利明
丸山英一 中村信彦
(弁ク) 石川泰男 島田康男
古谷 聡 堤 卓

再選挙に関する特別委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 羽村行弘(同友)
委 員 (弁ク) 三澤正義 小田治親
岡本啓三 高橋康夫
真田修治
(同友) 古谷史旺 唐木浄治
大貫和保 仁科勝史
中山伸治

【平成11年度】

[幹事会]

幹 事 長 須山佐一(弁ク)
副幹事長 井澤 洵(同友)
(企画、研修担当)
小林正治(同友)
(政策、役員協議担当)
永井義久(弁ク)
(総務、渉外関係担当)

幹 事(政策委員兼任)

(同友) 大橋 弘 黒川弘朗
坂口信昭 森 哲也
羽村行弘 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 小田治親
仁平 孝 渡邊喜平
川久保新一 内田和男

監 事 田中武文(同友) 土橋 皓(弁ク)

[相談役会]

相談役
(幹事長経験者)

山川政樹(弁ク) 古谷 馨(弁ク)
佐々木功(同友) 菊池新一(同友)
原田信市(同友) 絹谷信雄(弁ク)
米屋武志(同友) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友)
(弁理士会会長経験者)

田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
(弁理士会常議員会議長経験者)
山元俊仁(弁ク) 天野 泉(同友)

総務委員会(担当 永井義久)

委 員 長 井上 一(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委 員 (弁ク) 青木輝男 井上誠一
尾関伸介 笹井浩毅
(同友) 羽切正治 中村信彦
山木義明 崔 秀喆

政策委員会(担当 小林正治)

委 員 長 小池 晃(同友)
{9月以降：古谷 史旺(同友)}
副委員長 大橋邦彦(弁ク)
中澤健二(同友)

委員(幹事兼任)

(同友) 新井 全 飯田昭夫
伊賀誠司 竹内 裕
松下 満 吉田精孝
(弁ク) 井上誠一 北村 仁
黒田 壽 三澤正義
山名正彦

企画委員会(担当 井澤 洵)

委 員 長 山口邦夫(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
委 員 (弁ク) 岡本啓三 亀谷美明
布施行夫 渡部敏彦
(同友) 本宮照久 神崎正浩
高尾裕之 青山 仁

役員協議委員会(担当 小林正治)

委 員 長 原田信市(同友)
副委員長 内田和男(弁ク)
天野 泉(同友)
委 員 (同友) 五十嵐和壽 小川眞一
竹内 裕 中山伸治
(弁ク) 川久保新一 木村高久
紺野正幸 仁平 孝
原田 寛 守谷一雄
山川政樹

調整委員会(担当 永井義久)

委 員 長 古谷史旺(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)

委員 (同友) 菊池新一 原田信市
森 哲也 山本彰司
(弁ク) 絹谷信雄 下田容一郎
中山 清 守谷一雄

研修委員会(担当 井澤 洵)

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 五十嵐和壽(同友)
委員 (弁ク) 堤 卓 長岡 重幸
廣田浩一 油井 透
(同友) 山田智重 中里浩一
米山叔幸 藤井稔也

【平成12年度】

[幹事会]

幹事長 古谷史旺(同友)
副幹事長 仁平 孝(弁ク)
(政策、役員協議担当)
真田修治(弁ク)
(企画、研修担当)
坂口信昭(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 内田和男 井上 一
中島 淳 渡邊一平
土橋 皓 永井義久
(同友) 大貫和保 大塚明博
本田 崇 小倉正明
羽村行弘 田中雅雄

監事 積田輝正(同友) 原田 寛(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 佐藤孝雄(弁ク)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)

総務委員会

委員長 坂本光雄(同友)
副委員長 黒田 壽(弁ク)
委員 (弁ク) 山本晃司 伊藤嘉昭
尾川秀昭 石崎 剛
(同友) 大塚明博 山本義明
菊池 徹 崔 秀喆

政策委員会

委員長 木下實三(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
世良和信(弁ク)

委員 (同友) 竹内 裕 中澤健二
秋山 修 小林正治
吉田芳春 小倉正明
松下 満 崔 秀喆
(弁ク) 伊藤 進 齋藤美晴
亀谷美明 川久保新一
保立浩一 布施行夫

役員協議委員会

委員長 下田容一郎(弁ク)
副委員長 小林正治(同友)
井上 一(弁ク)
委員 (同友) 原田信市 黒川弘朗
高野昌俊 西野茂美
本宮照久
(弁ク) 永井義久 紺野正幸
小田治親 青木輝夫
北村 仁

調整委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (弁ク) 絹谷信雄 木村高久
守谷一雄 須山佐一
(同友) 中山伸治 菊池新一
森 哲也 天野 泉

研修委員会

委員長 山田智重(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 堤 卓 高島敏郎
友野英三 坂本清孝
(同友) 中村信彦 青山 仁
高田大輔 高尾裕之

企画委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 柿本恭成(弁ク)
委員 (同友) 杉本良夫 伊賀誠司
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 廣田浩一 佐藤年哉
富澤 孝 金坂憲幸

【平成13年度】

幹事長 中島 淳(弁ク)
副幹事長 本田 崇(同友)
(政策、研修担当)
山本彰司(同友)
(企画、役員協議担当)
伊藤 進(弁ク)
(総務、調整、渉外関係担当)

幹事 (弁ク) 中山 清 仁平 孝
笹井浩毅 内田和男
大橋邦彦 布施行夫
(同友) 唐木浄治 丸山英一
山崎高明 五十嵐和壽
森 哲也 中山伸治

監事 黒川弘朗(同友) 富田和子(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク) 小池 晃(同友)
木下實三(弁ク) 田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク) 古谷史旺(同友)

総務委員会

委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委員 (弁ク) 尾川秀昭 阪本清孝
廣田浩一 山本晃司
(同友) 中里浩一 松下 満
藤井稔也 山木義明

政策委員会

委員長 磯野道造(同友)
副委員長 齋藤美晴(弁ク) 羽村行弘(同友)
委員 (弁ク) 柿本邦夫 黒田勇治
仁平 孝 平山一幸
三谷 恵 三澤正義
山川茂樹
(同友) 五十嵐和壽 坂口信昭
竹内 裕 田辺敏郎
中澤健二 森 哲也

役員協議委員会

委員長 吉田精孝(同友)
副委員長 守谷一雄(弁ク) 吉田芳春(同友)
委員 (弁ク) 小田治親 柿本恭成
北村 仁 木下實三
紺野正幸
(同友) 内藤嘉昭 佐々木功
古谷史旺 仁科勝史
長内行雄

調整委員会

委員長 中澤健二(同友)
副委員長 木村高久(弁ク)
委員 (弁ク) 須山佐一 真田修治
永井義久 渡邊一平
(同友) 天野 泉 小林正治
中畑 孝 志賀正武

研修委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 石川泰男 堀 城之
富澤 孝 木村高明
(同友) 山田智重 杉本良夫
旦 武尚 青山 仁

企画委員会

委員長 黒田 壽(弁ク)
副委員長 川俣静子(同友)
委員 (弁ク) 金坂憲幸 佐藤年哉
友野英三 岡本啓三
(同友) 高野昌俊 竹山宏明
崔 秀喆 谷口 登

【平成14年度】

幹事長 小林正治(同友)
副幹事長 森 哲也(同友)
(総務、調整、渉外関係担当)
内田和男(弁ク)
(企画、研修担当)
川久保新一(弁ク)
(政策、役員協議担当)

幹事 (弁ク) 山川政樹 牧 哲郎
青木輝夫 布施行夫

亀谷美明 保立浩一
(同友) 中山伸治 唐木浄治
清水敬一 山本義明
白崎真二 宮坂 徹

仁平 孝 柿本恭成
黒田 壽
(同友) 原田信市 黒川弘朗
山本彰司 古谷史旺
内藤嘉昭

監 事 中山 清(弁ク)仁科勝史(同友)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)古谷史旺(同友)
中島 淳(弁ク)

総務委員会
委 員 長 五十嵐和壽(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委 員 (弁ク) 柿本邦夫 山本晃司
廣田浩一 佐原雅史
(同友) 中村盛夫 松田克治
秋元芳雄 長内行雄

企画委員会
委 員 長 川俣静子(同友)
副委員長 山口義雄(弁ク)
委 員 (弁ク) 大淵美千栄 坂本清孝
金坂憲幸 金井英幸
(同友) 竹山宏明 崔 秀喆
広瀬 一 谷口 登

政策委員会
委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 坂口信昭(同友)
委 員 (弁ク) 伊藤 進 木下實三
齋藤美晴 井上 一
山川茂樹 友野英三
(同友) 田辺敏郎 中澤健二
本田 崇 大塚明博
高野昌俊 小倉正明

役員協議委員会
委 員 長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 中村盛夫(同友)
委 員 (弁ク) 下田容一郎 紺野正幸

研修委員会
委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 世良和信(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 山本 尚
美濃好美 塩野谷英城
(同友) 五十嵐和壽 伊賀誠司
丸山英一 杉本良夫

調整委員会
委 員 長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友)
委 員 (弁ク) 中山 清 絹谷信雄
木村高久 中島 淳
(同友) 佐々木功 中村政美
積田輝正 大貫和保

【平成15年度】

幹 事 長 伊藤 進(弁ク)
副幹事長 中澤健二(同友)
(政策、調整担当)
飯田昭夫(同友)
(企画、研修担当)
渡邊一平(弁ク)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹 事 (同友) 中山伸治 大塚明博
中村盛夫 伊賀誠司
旦 武尚 高尾裕之
(弁ク) 牧 哲郎 山崎輝緒
真田修治 北村 仁
井上誠一 阪本清孝

監 事 松田克治(同友)木村高久(弁ク)

相 談 役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)

木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)

総務委員会

委員長 齋藤美晴(弁ク)
副委員長 松下 満(同友)
委員 (同友) 神崎正浩 花村 太
粕川敏夫 井澤 幹
(弁ク) 鈴木 知 中川裕幸
柿本邦夫 石崎 剛

企画委員会

委員長 本宮照久(同友)
副委員長 水野 清(弁ク)
委員 (同友) 長内行雄 新井 全
小島 猛 西 和哉
(弁ク) 内田和男 小川利春
金坂憲幸 美濃好美

政策委員会

委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 磯野道造 小池 晃
坂口信昭 原田信市
竹内 裕 本田 崇
旦 武尚 青山 仁
(弁ク) 大橋邦彦 中島 淳
三澤正義 井上 一
保立浩一 服部雅紀
今井孝弘

役員協議委員会

委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 杉本良夫(同友)
黒田 壽(弁ク)
委員 (同友) 天野 泉 大塚明博
中村盛夫 松原 等
(弁ク) 仁平 孝 川久保新一
布施行夫 山川茂樹
山本晃司

研修委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 大賀眞司(同友)
委員 (同友) 林 信之 高野昌俊
石川 憲 中原文彦

(弁ク) 鈴木健治 佐原雅史
西康二郎 田中ひろみ

調整委員会

委員長 天野 泉(同友)
副委員長 中山 清(弁ク)
委員 (同友) 吉田精孝 本田 崇
山本彰司 磯野道造
(弁ク) 絹谷信雄 土橋 皓
紺野正幸 小田治親

【平成16年度】

幹事長 磯野道造(同友)
副幹事長 須山佐一(弁ク)
(研修、企画担当)
永井義久(弁ク)
(政策、調整担当)
五十嵐和壽(同友)
(総務、役員協議、渉外担当)

幹事 (弁ク) 保立浩一 山川茂樹
内田和男 中川裕幸
小川利春 笹井浩毅
(同友) 竹内 裕 清水 修
大貫和保 神崎正浩
伊賀誠司 石川 憲

監事 小田治親(弁ク)大塚明博(同友)

相談役 田中武文(同友)山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク)佐々木功(同友)
菊池新一(同友)原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク)米屋武志(同友)
佐藤孝雄(弁ク)小池 晃(同友)
木下實三(弁ク)田辺敏郎(同友)
須山佐一(弁ク)中島 淳(弁ク)
小林正治(同友)伊藤 進(弁ク)

総務委員会

委員長 米山淑幸(同友)
副委員長 山川茂樹(会計担当)(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 美濃好美
茅野直勝 三谷 恵
(同友) 花村 太 粕川敏夫
神崎正浩 小島 猛

企画委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
副委員長 新井 全(同友)
委員 (弁ク) 阪本清孝 北村 仁
阿仁屋節雄 柿本邦夫
(同友) 松下 満 西 和哉
旦 武尚 佐藤 陽

政策委員会

委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 飯田昭夫(同友)
委員 (弁ク) 亀谷美明 布施行夫
保立浩一 山川茂樹
伊藤 進 渡邊一平
(同友) 長内行雄 坂口信昭
中澤健二 坂本光雄
中村盛夫 成瀬重雄

役員協議委員会

委員長 中村盛夫(同友)
副委員長 土橋 皓(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 石川泰男
平山一幸 笹井浩毅
渡邊一平
(同友) 中里浩一 仁科勝史
杉本良夫 宮坂 徹

研修委員会

委員長 林 信之(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)
委員 (弁ク) 鈴木 知 永岡重幸
鈴木 敦 岡田希子
(同友) 中村信彦 山田智重
大賀真司 井澤 幹

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 本田 崇(同友)
委員 (弁ク) 紺野正幸 中山 清
紺谷信雄 山川政樹
(同友) 小池 晃 吉田精孝
中山伸治 大橋 弘

【平成17年度】

幹事長 永井義久(弁ク)
副幹事長 吉田芳春(同友)
(研修、政策、
役員協議(後期)担当)
小川真一(同友)
(企画、
役員協議(前期)担当)
笹井浩毅(弁ク)
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 伊賀誠司
長内行雄 坂口信昭
坂本光雄 中村盛夫
(弁ク) 鈴木 知 堤 卓
中川裕幸 中山 清
布施行夫 山本晃司

監事 大塚明博(同友) 小田治親(弁ク)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
紺谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)

総務委員会

委員長 金坂憲幸(弁ク)
副委員長 山崎高明(同友)
委員 (同友) 松下 満 杉本良夫
宮坂 徹 山田武史
安彦 元 関 昌充
(弁ク) 井上誠一 柿本邦夫
廣田浩一 三谷 恵

企画委員会

委員長 高尾裕之(同友)
副委員長 山口義男(弁ク)
委員 (弁ク) 阿仁屋節雄 井上誠一
(同友) 新井 全 杉本良夫
吉村俊一

政策委員会

委員長 川久保新一(弁ク)
副委員長 坂本光雄(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 中村盛夫
成瀬重雄
(弁ク) 木下實三 中島 淳
井上 一 黒田 壽
山川茂樹 田中ひろみ

役員協議委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 紺野正幸(弁ク)
副委員長 菊池 徹(同友)
委員 (弁ク) 水野 清 服部雅紀
山川茂樹 山本晃司
(同友) 中澤健二 仁科勝史
伊賀誠司 崔 秀喆
小島 猛

研修委員会

委員長 小川利春(弁ク)
副委員長 林 信之(同友)
委員 (同友) 青山 仁
(弁ク) 北村 仁 永岡重幸
鈴木 敦

能力担保専門委員

(同友) 山本彰司 五十嵐和壽
本宮照久 中村信彦
(弁ク) 原田 寛 尾川秀昭
服部雅紀 河部秀男
赤羽良之

調整委員会

委員長 本田 崇(同友)
副委員長 渡邊一平(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 川久保新一
(同友) 吉田精孝 丸山英一

【平成18年度】

幹事長 吉田芳春(同友)
副幹事長 三澤正義(弁ク)
(役員協議、政策担当)
長内行雄(同友)
(総務、調整担当)
井上誠一(弁ク)

(研修、企画担当)

幹事 (弁ク) 服部雅紀 金坂憲幸
川久保新一 小川利春
永岡重幸 美濃好美
(同友) 磯野道造 坂口信昭
小林正治 五十嵐和壽
小林 保 杉本良夫

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 田中武文(同友) 山川政樹(弁ク)
古谷 馨(弁ク) 佐々木功(同友)
菊池新一(同友) 原田信市(同友)
絹谷信雄(弁ク) 米屋武志(同友)
小池 晃(同友) 木下實三(弁ク)
田辺敏郎(同友) 須山佐一(弁ク)
中島 淳(弁ク) 小林正治(同友)
伊藤 進(弁ク) 磯野道造(同友)
永井義久(弁ク)

総務委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 美濃好美(弁ク)
委員 (弁ク) 今井孝弘 柿本邦夫
(同友) 山田武史 宮坂 徹
松下 満 杉本良夫
安彦 元 関 昌充

役員協議委員会

委員長 須山佐一(弁ク)
副委員長 磯野道造(同友) 紺野正幸(弁ク)
委員 (同友) 井澤 幹 菊池 徹
小島 猛 藤浪一郎
堂本 環 古川友美
丸山英一
(弁ク) 小川利春 金坂憲幸
塩野谷英城 布施行夫
山口義雄 山本晃司

研修委員会

委員長 成瀬重雄(同友)
副委員長 布施行夫(弁ク)
委員 (弁ク) 小川利春 長谷川靖
三谷 恵
(同友) 林 信之 中村信彦

山田 武史

企画委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 粕川敏夫(同友)
(同友) 松下 満 花村 太
中原文彦
(弁ク) 柿本邦夫 阿仁屋節雄
山口義雄

政策委員会
委員長 崔 秀喆(同友)
副委員長 廣瀬隆行(弁ク)
委員 (弁ク) 保立浩一 笹井浩毅
鈴木喜三郎 田中ひろみ
井上 一 今井孝弘
岡田希子 奥田 誠
金坂憲幸 上條由紀子
茅野直勝 川久保新一
木下實三 小林 浩
佐成重範 永井義久
永岡重幸 服部雅紀
美濃好美 山本晃司
中島 淳 山川茂樹
(同友) 丸山英一 小林 保
小林正治 坂本光雄
本宮照久 菊池 徹
杉本良夫 坂口信昭

調整委員会
委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 吉田精孝 丸山英一
(弁ク) 下田容一郎 川久保新一

【平成19年度】

幹事長 川久保新一(弁ク)
副幹事長 天野 泉(同友)
(20周年記念事業担当)
井上 一(弁ク)
(総務、政策、調整担当)
丸山英一(同友)
(企画、役員協議、
研修担当)

幹事 (同友) 坂口信昭 五十嵐和壽
坂本光雄 伊賀誠司
杉本良夫 中原文彦
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 永岡重幸
服部雅紀 三澤正義

監事 真田修治(弁ク) 大貫和保(同友)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 小林正治
磯野道造 吉田芳春
(弁ク) 伊藤 進 木下實三
絹谷信雄 須山佐一
永井義久 中島 淳
古谷 馨 山川政樹

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 旦 武尚 花村 太
小島 猛
(弁ク) 奥川勝利 茅野直勝

政策委員会
委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 本宮照久(同友)
委員 (同友) 坂本光雄 田中雅雄
崔 秀喆 山田武史
石川 憲
(弁ク) 保立浩一 廣瀬隆行
奥 和幸 住吉勝彦
田中ひろみ

役員協議委員会

委員長 小川眞一(同友)
副委員長 亀谷美明(弁ク)
委員 (弁ク) 平山一幸 布施行夫
柿本邦夫
(同友) 伊賀誠司 粕川敏夫
高尾裕之

調整委員会

委員長 渡邊一平(弁ク)

副委員長 山本彰司(同友)
委 員 選任なし

中原文彦 萼 経夫
松下 満 山木義明

研修委員会
委 員 長 米山淑幸(同友)
副委員長 今井孝弘(弁ク)
委 員 (弁ク) 絹谷晴久 須山英明
長谷川靖
(同友) 中村信彦 三島広規
小島 猛

監 事 真田修治(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 伊藤 進 川久保新一
木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹
(同友) 磯野道造 菊池新一
小池 晃 小林正治
佐々木功 田中武文
田辺敏郎 原田信市
吉田芳春 米屋武志

企画委員会
委 員 長 菊池 徹(同友)
副委員長 山本寿武(弁ク)
委 員 (弁ク) 阿仁屋節雄 奥田 誠
鈴木喜三郎 山口義雄
(同友) 青山 仁 高尾裕之
本宮照久

総務委員会
委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 住吉勝彦(弁ク)
委 員 (弁ク) 鈴木 知 柿本邦夫
小國泰弘
(同友) 菊池 徹 宮坂 徹
山田武史

20周年記念事業実行委員会
委 員 長 永井義久(弁ク)
副委員長 伊賀誠司(同友)
部 会 長 〈式 典〉黒田 壽(弁ク)
部 会 長 〈祝賀会〉小川眞一(同友)
委 員 (同友) 伊賀誠司 新井 全
中村盛夫 崔 秀喆
粉川敏夫 杉本良夫
(弁ク) 茅野直勝 原田 寛
山口邦夫 中川裕幸
伊藤信和 柿本邦夫
鈴木 知

政策委員会
委 員 長 住吉勝彦(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委 員 (同友) 森 哲也 天野 泉
竹内 裕 小池 晃
古谷史旺 吉田芳春
丸山英一 山田武史
長内行雄 笹川 拓
関 昌充 笹野拓馬
(弁ク) 世良和信 川久保新一
井上 一 金坂憲幸
山本寿武 奥田 誠
伊藤信和 今井孝弘
上條由紀子 奥 和幸
恒川圭志 及川 周
國井久美子 森岡嗣象
高橋史保

【平成20年度】

幹 事 長 小川眞一(同友)
副幹事長 亀谷美明(弁ク)
(政策、役員協議担当)
中川裕幸(弁ク)
(研修、企画担当)
伊賀誠司(同友)
(総務、調整担当)

幹 事 (弁ク) 金坂憲幸 塩野谷英城
鈴木 知 永井義久
永岡重幸 三澤正義
(同友) 新井 全 坂本光雄

企画委員会
委 員 長 長内行雄(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委 員 (弁ク) 加藤和孝 村井弘実

(同友) 菊池 徹 谷山尚史
井澤 幹

研修委員会
委員長 奥 和幸(弁ク)
副委員長 大塚明博(同友)
委員 (弁ク) 今井孝弘 加藤政之
石戸孝則

調整委員会
委員長 山本彰司(同友)
副委員長 三澤正義(弁ク)
委員 (弁ク) 下田容一郎 伊藤 進
(同友) 古谷史旺 丸山英一

役員協議委員会
委員長 保立浩一(弁ク)
副委員長 吉田芳春(同友)

【平成21年度】

幹事長 渡邊一平(弁ク)
副幹事長 本宮照久(同友)
(企画、研修担当)
山崎高明(同友)
(政策、役員協議担当)
黒田 壽(弁ク)
(総務、調整担当)

幹事 (同友) 新井 全 坂本光雄
松下 満 山木義明
菊池 徹 大塚明博
(弁ク) 小川利春 井上誠一
塩野谷英城 今井孝弘
山川茂樹 山口義雄

監事 坂口信昭(同友)
真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 田中武文 佐々木功
菊池新一 原田信市
米屋武志 小池 晃
田辺敏郎 古谷史旺
小林正治 磯野道造
吉田芳春 小川眞一
(弁ク) 伊藤 進 川久保新一

木下實三 絹谷信雄
須山佐一 永井義久
中島 淳 古谷 馨
山川政樹

総務委員会
委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 青山 仁 笹川 拓
関 昌充
(弁ク) 山川茂樹 柿本邦夫
奥 和幸

政策委員会
委員長 森 哲也(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 井上誠一
及川 周 奥 和幸
川久保新一 川守田光紀
國井久美子 住吉勝彦
世良和信 永井義久
永岡重幸 山川茂樹
梶 俊和
(同友) 天野 泉 小川眞一
小池 晃 笹川 拓
笹野拓馬 関 昌充
竹内 裕 恒川圭志
古谷史旺 本田 淳
丸山英一 山崎高明
山田武史 吉田芳春

役員協議委員会
委員長 吉田芳春(同友)
副委員長 保立浩一(弁ク)

調整委員会
委員長 三澤正義(弁ク)
副委員長 山本彰司(同友)
委員 (同友) 天野 泉 古谷史旺
(弁ク) 伊藤 進 下田容一郎

研修委員会
委員長 中原文彦(同友)
副委員長 鈴木 敦(弁ク)
委員 (弁ク) 住吉勝彦
(同友) 山田武史

企画委員会
 委員長 梶 俊和(弁ク)
 副委員長 中原文彦(同友)
 委員 (同友) 井澤 幹 本田 淳
 (弁ク) 山口義雄 瀧澤匡則

(弁ク) 伊藤 進 内田和男
 永井義久 川久保新一
 井上誠一 永岡重幸
 奥 和幸 住吉勝彦
 梶 俊和

【平成22年度】

幹事長 亀谷美明(弁ク)
 副幹事長 田中雅雄(同友)
 山川茂樹(弁ク)
 吉村俊一(同友)

幹事 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満
 新井 全 菊池 徹
 (弁ク) 小川利春 岡本啓三
 井上誠一 山本晃司
 永岡重幸 今井孝弘

監事 坂口信昭(同友) 齋藤美晴(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
 磯野道造 菊池新一
 小池 晃 田辺敏郎
 古谷史旺 小林正治
 吉田芳春 小川眞一
 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
 絹谷信雄 伊藤 進
 須山佐一 中島 淳
 木下實三 永井義久
 川久保新一 渡邊一平

総務委員会
 委員長 住吉勝彦(弁ク)
 副委員長 本田 淳(同友)
 委員 松本一騎(弁ク)
 長野みか(弁ク)

政策委員会
 委員長 山本晃司(弁ク)
 副委員長 藤井稔也(同友)
 (同友) 天野 泉 竹内 裕
 小池 晃 古谷史旺
 吉田芳春 丸山英一
 山田武史 本田 淳

役員協議委員会

委員長 丸山英一(同友) (4/1～)
 副委員長 鈴木 知(弁ク)
 委員 (弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久
 潮 太郎
 (同友) 中村盛夫 坂本光雄
 藤井稔也 林 信之
 笹川 拓 本田 淳

調整委員会

委員長 田辺敏郎(同友)
 副委員長 伊藤 進(弁ク)
 委員 山本彰司(同友)

研修委員会

委員長 今井孝弘(弁ク)
 副委員長 山田武史(同友)
 委員 中原文彦(同友)

企画委員会

委員長 佐尾山和彦(同友)
 副委員長 伊藤信和(弁ク)
 委員 (弁ク) 山本寿武 奥 和幸
 (同友) 菊池 徹 古川友美

【平成23年度】

選任なし

【平成24年度】

幹事長 古谷史旺(同友)
 副幹事長 中川裕幸(弁ク)
 山川茂樹(弁ク)
 小川眞一(同友)

幹事 (弁ク) 柿本邦夫 塩野谷英城
 絹谷晴久 木戸基文
 (同友) 大塚明博 坂本光雄
 山木義明 松下 満

新井 全 菊池 徹

吉田芳春 小川眞一

監 事 齋藤美晴(弁ク) 坂口信昭(同友)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一

総務委員会

委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 小國泰弘(弁ク)

その他の委員会については、立ち上げず

【平成25年度】

幹 事 長 丸山英一(同友)
副幹事長 中川裕幸(弁ク)
山本晃司(弁ク)
吉村俊一(同友)

幹 事 (弁ク) 木下實三 井上誠一
岸本達人 永岡重幸
滝澤匡則 野崎俊剛
(同友) 田中雅雄 山崎高明
山田武史 中原文彦
安彦 元 井澤 幹

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一
(同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治

総務委員会

委 員 長 安彦 元(同友)
副委員長 滝澤匡則(弁ク)

政策委員会

委 員 長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 山崎高明(同友)

役員協議委員会

委 員 長 井澤 幹(同友)
副委員長 井上誠一(弁ク)

調整委員会

委 員 長 木下實三(弁ク)
副委員長 田中雅雄(同友)

研修委員会

委 員 長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)

企画委員会

委 員 長 中原文彦(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)

【平成26年度】

幹 事 長 山川茂樹(弁ク)
副幹事長 青山 仁(同友)
(企画委員会、研修委員会)
井澤 幹(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)
鈴木 知(弁ク)
(総務委員会、政策委員会)

幹 事 (同友) 丸山英一 山崎高明
笹川 拓 茜ヶ久保公二
岩田克子 本田 淳
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監 事 坂口信昭(同友) 真田修治(弁ク)

相 談 役 (同友) 原田信市 佐々木功

磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

総務委員会

委員長 塩野谷英城(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 笹野拓馬 石井理太
(弁ク) 柿本邦夫 飛田高介

政策委員会

委員長 山崎高明(同友)
副委員長 瀧澤匡則(弁ク)
委員 (弁ク) 伊藤 進 永井義久
渡邊一平 岸本達人
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
内野則彰 岩田耕一
富澤 正 野崎俊剛
(同友) 竹内 裕 仁科勝史
吉田芳春 長内行雄
伊賀誠司 丸山英一
山田武史 笹川 拓
恒川圭志 石川 憲
井澤 幹 笹野拓馬
茂木康彦 大和田昭彦

企画委員会

委員長 小田原敬一(弁ク)
副委員長 岩田克子(同友)
委員 (同友) 仲村圭代 駒場大視
(弁ク) 奥川勝利 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 永岡重幸(弁ク)
副委員長 茜ヶ久保公二(同友)
委員 (同友) 田辺 恵 藤浪一郎
徳増あゆみ 飯野智史

須田守一
(弁ク) 船津暢宏 小國泰弘
美川公司 梶 俊和

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 伊藤 進(弁ク)
委員 (弁ク) 船津暢宏 山本晃司
(同友) 田中雅雄 粕川敏夫

研修委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 三輪浩誉(弁ク)
委員 (弁ク) 松本一騎
(同友) 山田武史

【平成 27 年度】

幹事長 山本晃司(弁ク)
副幹事長 永岡重幸(弁ク)
(企画委員会、研修委員会)
森 俊秀(同友)
(総務委員会、政策委員会)
石川 憲(同友)
(役員協議委員会、調整委員会)

幹事 (同友) 小川眞一 山田武史
吉村俊一 安彦 元
本田 淳 大橋剛之
(弁ク) 世良和信 渡邊一平
岸本達人 小國泰弘
梶 俊和 絹谷晴久

監事 真田修治(弁ク) 坂本光雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平

委員会
総務委員会

委員長 大橋剛之(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 茂木康彦 陸名智之
(弁ク) 柿本邦夫 佐々木まどか

政策委員会

委員長 三輪浩誉(弁ク)
副委員長 本田 淳(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 飯田昭夫
中村盛夫 伊賀誠司
関 昌充 井澤 幹
(弁ク) 伊藤 進 濱田百合子
松本一騎 熊井 寛
野崎俊剛 美川公司

企画委員会

委員長 安彦 元(同友)
副委員長 奥 和幸(弁ク)
委員 (同友) 徳増あゆみ 駒場大視
(弁ク) 柿本邦夫 永井 望

役員協議委員会

委員長 吉村俊一(同友)
副委員長 梶 俊和(弁ク)
委員 丸山英一(同友)

調整委員会

委員長 伊藤 進(弁ク)
副委員長 小川眞一(同友)
委員 (同友) 田辺敏郎
(弁ク) 船津暢宏 黒田 壽
瀧澤匡則

研修委員会

委員長 野崎俊剛(弁ク)
副委員長 山田武史(同友)
委員 (同友) 笹川 拓
(弁ク) 下田憲雅

幹事長 石川 憲(同友)

副幹事長 船津暢宏(弁ク)
(役員協議、調整)
梶 俊和(弁ク)
(政策、企画、研修)
笹野拓馬(同友)
(総務、30 周年準備)

幹事 (同友) 小林 保 長内行雄
小川眞一 山田武史
本田 淳 徳増あゆみ
(弁ク) 永井義久 中川裕幸
山本晃司 岸本達人
須山英明 瀧澤匡則

監事 中村盛夫(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 佐々木功
磯野道造 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会
委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 笹川 拓(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 佐々木まどか 高橋 堅

政策委員会

委員長 小林 保(同友)
副委員長 小田原敬一(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 関 昌充
井澤 幹 田辺 恵
高下雅弘

(弁ク) 伊藤 進 山本晃司
岡田希子 永岡重幸
小國泰弘 今堀克彦
須山英明 奥川勝利
岩田耕一 富澤 正

企画委員会

委員長 須山英明(弁ク)
副委員長 吉田倫太郎(同友)
委員 (同友) 本田 淳 川崎ひかり
(弁ク) 小國泰弘 下田憲雅

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 井澤 幹(同友)
委員 (同友) 安彦 元 山下幸彦
(弁ク) 小國泰弘 絹谷晴久

調整委員会

委員長 長内行雄(同友)
副委員長 山川茂樹(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一 吉村俊一
(弁ク) 岸本達人 瀧澤匡則

研修委員会

委員長 山田武史(同友)
副委員長 飛田高介(弁ク)
委員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 柿本邦夫

30周年記念事業準備委員会

委員長 粕川敏夫(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺
(弁ク) 永岡重幸

【平成 29 年度】

幹事長 粕川敏夫(同友)

副幹事長 塩野谷英城(弁ク)
(政策、役員協議、調整)
絹谷晴久(弁ク)
(企画、研修)
笹川 拓(同友)
(総務、30周年記念事業)

幹事 (同友) 小林 保 小川眞一
丸山英一 吉村俊一
石川 憲 松本直子
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
中川裕幸 岸本達人
瀧澤匡則 熊井 寛

監事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 小野友彰(同友)
副委員長 今堀克彦(弁ク)
委員 (同友) 笹野拓馬
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 船津暢宏(弁ク)
副委員長 古谷史旺(同友)
委員 (同友) 坂口信昭 伊賀誠司
関 昌充 田辺 恵
茂木康彦 松本直子
(弁ク) 伊藤 進 中島 淳
永井義久 山本晃司
永岡重幸 今堀克彦
三輪浩誉 須山英明
奥川勝利 小田原敬一
富澤 正

企画委員会

委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 熊井 寛(弁ク)
委員 (同友) 山下幸彦 川崎ひかり
(弁ク) 権正英樹 瀧澤匡則

役員協議委員会

委員長 石川 憲(同友)
副委員長 岸本達人(弁ク)
委員 (同友) 藤井稔也 藤浪一郎
(弁ク) 大淵美千栄 小林 功

調整委員会

委員長 中川裕幸(弁ク)
副委員長 丸山英一(同友)
委員 (同友) 小川眞一 高下雅弘
(弁ク) 岸本達人

研修委員会

委員長 伊藤信和(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 徳増あゆみ
(弁ク) 柿本邦夫 中川裕幸

30 周年記念事業実行委員会

委員長 青山 仁(同友)
副委員長 永井義久(弁ク)
式典部会長 吉村俊一(同友)
祝賀会部会長 山川茂樹(弁ク)
記念誌部会長 松本直子(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小野友彰
田辺 恵 岩田克子
笹野拓馬 徳増あゆみ
坂口吉之助 保屋野光繁
(弁ク) 永岡重幸 今堀克彦
三苦貴織 新井 宏
橘 祐史 美川公司
夏目洋子 尾崎祐朗
張 華威

幹 事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
笹野拓馬 松本直子
(弁ク) 中川裕幸 山本晃司
伊藤信和 今堀克彦
瀧澤匡則 潮 太朗

監 事 長内行雄(同友) 真田修治(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
山川茂樹 山本晃司

委員会

総務委員会

委員長 潮 太朗(弁ク)
副委員長 松本直子(同友)
委員 (同友) 河合利恵
(弁ク) 須山英明 三苦貴織

政策委員会

委員長 伊賀誠司(同友)
副委員長 橘 和之(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 小川眞一
丸山英一 山崎高明
(弁ク) 川久保新一 中川裕幸
山川茂樹 岸本達人
塩野谷英城 瀧澤匡則

企画委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 横田香澄(同友)
委員 (同友) 吉村俊一 高井智之
(弁ク) 絹谷晴久 加藤和孝
小田原敬一

【平成 30 年度】

幹 事 長 鈴木 知(弁ク)

副幹事長 菊池 徹(同友)
(調整、研修)

関 昌充(同友)
(政策、役員協議)

奥川勝利(弁ク)
(総務、企画)

役員協議委員会

委員長 山本晃司(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友) 吉村俊一(同友)
委員 (同友) 藤井稔也 井澤 幹
関 大祐 高下雅弘
吉田倫太郎
(弁ク) 今堀克彦 絹谷晴久

(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 山本晃司(弁ク)
委員 (同友) 小川眞一
(弁ク) 中川裕幸 瀧澤匡則

委員会

総務委員会
委員長 笹野拓馬(同友)
副委員長 三苫貴織(弁ク)
委員 (同友) 山下幸彦 関 大祐
(弁ク) 村野直仁 武田侑希

研修委員会

委員長 谷口 登(同友)
副委員長 伊藤信和(弁ク)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二
(弁ク) 権正英樹 河部康弘

政策委員会

委員長 潮 太郎(弁ク)
副委員長 中原文彦(同友)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保
長内行雄 丸山英一
山崎高明 横田香澄
(弁ク) 濱田百合子 中川裕幸
今堀克彦 奥川勝利
高橋 堅 加藤和孝

【令和元年度】

幹事長 塩野谷英城(弁ク)

副幹事長 伊賀誠司(同友)
(政策、役員協議、調整)
瀧澤匡則(弁ク)
(企画、研修)
松本直子(同友)
(総務)

企画委員会

委員長 笹川 拓(同友)
副委員長 須藤 淳(弁ク)
委員 (同友) 小島 猛 河合利恵
(弁ク) 絹谷晴久 岩田耕一

幹事 (同友) 林 實 小林 保
小川眞一 丸山英一
高田大輔 吉田倫太郎
(弁ク) 中川裕幸 小國泰弘
今堀克彦 奥川勝利
加藤和孝 潮 太郎

役員協議委員会

委員長 山川茂樹(弁ク)
副委員長 藤浪一郎(同友)
委員 (同友) 高下雅弘 服部綾子
(弁ク) 笠原 翔 厚木 薫

監事 永井義久(弁ク) 長内行雄(同友)

調整委員会

委員長 丸山英一(同友)
副委員長 中川裕幸(弁ク)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲

研修委員会

委員長 小國泰弘(弁ク)
副委員長 谷口 登(同友)
委員 (同友) 茜ヶ久保公二 駒場大視
(弁ク) 関根武彦 美川公司

【令和2年度】

幹事長 吉村俊一(同友)

副幹事長 梶 俊和(弁ク)
(総務、政策)

笹川 拓(同友)
(企画、研修)

潮 太郎(弁ク)
(役協、調整)

幹事 (同友) 小川眞一 高田大輔
笹野拓馬 山下幸彦
松本直子 吉田倫太郎
(弁ク) 永井義久 船津暢宏
奥川勝利 美川公司
小越一輝 河部康弘

監事 真田修治(弁ク) 長内行雄(同友)

相談役 (同友) 原田信市 菊池新一
小池 晃 田辺敏郎
古谷史旺 小林正治
吉田芳春 小川眞一
丸山英一 粕川敏夫
石川 憲
(弁ク) 古谷 馨 山川政樹
絹谷信雄 伊藤 進
須山佐一 中島 淳
木下實三 永井義久
川久保新一 渡邊一平
鈴木 知 山川茂樹
山本晃司 塩野谷英城

委員会

総務委員会

委員長 河部康弘(弁ク)
副委員長 河合利恵(同友)
委員 (同友) 関 大祐
(弁ク) 今堀克彦 加藤和孝
瀧澤匡則

政策委員会

委員長 吉田倫太郎(同友)
副委員長 權正英樹(弁ク)
委員 (同友) 古谷史旺 小林 保

丸山英一 山崎高明
藤浪一郎

(弁ク) 山川茂樹 山本晃司
奥川勝利 加藤和孝
美川公司

企画委員会

委員長 小越一輝(弁ク)
副委員長 小島 猛(同友)
委員 (同友) 松本直子
(弁ク) 須藤 淳 岩田耕一

役員協議委員会

委員長 高田大輔(同友)
副委員長 船津暢宏(弁ク)
委員 (弁ク) 井上誠一 山本晃司
絹谷晴久

調整委員会

委員長 永井義久(弁ク)
副委員長 長内行雄(同友)
委員 (弁ク) 絹谷晴久 山内輝和

研修委員会

委員長 山田武史(同友)
副委員長 永井 望(弁ク)
委員 (同友) 横田香澄
(弁ク) 權正英樹

弁理士連合クラブ会則

(昭和62年9月29日創立総会、即日施行)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 ・ 本会は、弁理士連合クラブと称する。

(目 的)

第2条 ・ 本会は、知的財産権制度及び弁理士制度の改善と向上を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 ・ 本会は、第2条に掲げる目的に賛同する弁理士団体及びその団体に属する弁理士をもって組織する。

(事務所)

第4条 ・ 本会の事務所は、東京都に置き、その場所は幹事会が定める。

(入退会)

第5条 ・ 本会に入会し又は退会する弁理士団体は、入会届又は退会届を幹事会に提出し、その承認を得なければならない。

第2章 総 会

(総 会)

第6条 ・ 総会は、定時総会と臨時総会とする。
・ 定時総会は年2回2月、並びに8月、9月又は10月に開き、臨時総会は随時開く。

(権 限)

第7条 ・ 総会は、次の事項を審議する。
1) 予算の議決及び決算の承認に関する事項
2) 会則の制定、変更又は廃止に関する事項
3) 役員、相談役及び顧問の選任に関する事項
4) 日本弁理士会役員候補の推薦に関する事項
5) その他、幹事会において総会に付することを相当と認めた事項

(召 集)

第8条 ・ 総会は、幹事長が召集する。
・ 総会招集通知には、会議に日時、場所及び会議の目的事項を示さなければならない。

(議長及び議事)

第9条 ・ 総会の議長は、幹事長をもってこれに充てる。
・ 議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

第3章 役 員

(役 員)

第10条 ・ 本会に次の役員を置く。
1) 幹事長1人
2) 副幹事長若干人
3) 幹事若干人
4) 監事若干人
幹事長は、日本弁理士会の会長又は副会長を経験した者でなければならない。
役員は、総会において選任し、その任期は、選任された年の翌年1月1日から12月31日までとする。

(幹事会)

第11条 ・ 幹事長、副幹事長及び幹事で幹事会を組織する。
・ 会務の執行は、幹事会がこれを決する。
・ 議事は、出席した副幹事長及び幹事の過半数をもって決し、可否同数のときは、幹事長がこれを決する。
第11条の2 ・ 幹事長及び副幹事長で正副幹事長会を組織する。

(幹事長)

- 第12条
- ・ 幹事長は、幹事会を招集し、その議長となり、幹事会を統括する。
 - ・ 幹事長は、本会を代表する。
 - ・ 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故があるときは、弁理士登録の順序により幹事長の職務を代行する。

(報告等)

- 第13条
- ・ 幹事長は、委員会に出席して、会務の状況を報告し、又は意見を述べることができる。

(監 事)

- 第14条
- ・ 監事は、本会の財務を監査する。

第4章 委員会

(委員会)

- 第15条
- ・ 本会に次の委員会を置く。
 - 1) 総務委員会
 - 2) 政策委員会
 - 3) 企画委員会
 - 4) 役員協議委員会
 - ・ 幹事会は、必要に応じて特定の事項を行わせるため、特別委員会を置くことができる。

(委員選任)

- 第16条
- ・ 委員は、幹事会において選任する。
 - ・ 委員の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。ただし、特別委員会の委員の任期は幹事会が定める。
 - ・ 委員の任期が満了した場合においても、後任者が就任するまでは、なおその職責に任ずるものとする。

(正副委員長)

- 第17条
- ・ 委員会に委員長1人、副委員長若干人をおく。委員長及び副委員長は、毎年最初の委員会において委員が互選する。
 - ・ 委員長は、委員会を招集し、その議長となり、委員会を統括する。
但し、毎年最初の委員会は、幹事長がこれを召集する。
 - ・ 委員長は委員会を代表する。
 - ・ 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、弁理士登録の順序により、委員長の職務を代行する。

(委員会の会議)

- 第18条
- ・ 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長がこれを決する。

(委員会の職務)

- 第19条
- ・ 各委員は、次の事項を行うことを職務とする。
 - 1) 総務委員会は、会員の連絡及び会議場所等の設営、会議の開催に関する事項、その他、他の委員会に属さない事項を行う。
 - 2) 政策委員会は、日本弁理士会の会務執行上の諸政策についての調査、研究に関する事項を行う。
 - 3) 企画委員会は、本会の運営の改善及び新規会員の増加策等の調査、研究並びに機関誌の編集、発行に関する事項を行う。
 - 4) 役員協議委員会は、日本弁理士会の役員選挙に関する事項を審議し、選挙運動の統括を行う。

第5章 相談役及び顧問

(相談役及び顧問)

- 第20条
- ・ 本会に相談役及び顧問をおくことができる。
 - ・ 相談役は、本会の幹事長を経験した者、日本弁理士会の会長又は監事長若しくは常議員会議長を経験した者の中から選任する。
 - ・ 相談役は相談役会を構成する。
 - ・ 相談役会は、会務について幹事長の諮問に応える。
 - ・ 相談役及び顧問の任期は、選任された日から選任された年の12月31日までとする。

第6章 会 計

(会計年度)

第21条 ・ 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

(特別会計)

第22条 ・ 日本弁理士会の役員選挙に関する費用の支弁は、特別会計とする。

(経 費)

第23条 ・ 本会の経費は、本会の属する弁理士団体の分担金、寄付金その他の収入で支弁する。

(監査報告)

第24条 ・ 監事は、監査を定時総会で報告しなければならない。

第7章 規則の制定

(規則の制定)

第25条 ・ 幹事会は、会務の執行上必要と認めた場合には、幹事会の決議により規則を定めることができる。

第8章 会則等の改正

(会則の改正)

第26条 ・ 本会則を改正するには、総会出席会員の3分の2以上の同意がなければならない。

(規則の改正)

第27条 ・ 規則の変更又は廃止は、幹事会の決議により行われなければならない。

附 則

1. この会則は、昭和62年9月29日から施行する。
2. 昭和62年度の役員及び顧問の任期は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
3. 昭和62年度の会計年度は、昭和62年9月29日から昭和63年3月31日までとする。
4. この会則の一部改正は、平成5年5月17日から施行する。
5. 平成5年度の相談役の任期は、平成5年5月17日から翌年3月31日までとする。
6. この会則の一部改正は、平成11年5月21日から施行する。
7. この会則の一部改正は、平成13年1月25日から施行する。
8. この会則の一部改正は、平成15年8月8日から施行する。
9. ①この会則の一部改正中第10条の規定は、平成16年9月22日から施行し、第6条、第16条、第20条、第21条の規定は、平成17年1月1日から施行する。
②平成16年度の会計年度は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
③平成16年度の役員、委員、相談役及び顧問の任期は、平成16年4月1日から平成16年12月31日までとする。
10. この会則の一部改正は、平成19年2月27日から施行する。
11. この会則の一部改正は、令和2年9月2日から施行する。

弁理士連合クラブ慶弔規則

第1条(目的)

この規則は、弁理士連合クラブ(以下本クラブという)会員又は会員以外の弁理士の慶事、弔事、罹災等に関して、本クラブが祝意、弔慰を表わし、あるいは見舞いを行うに当たっての基礎を設けることを目的とする。

第2条

(1)慶事に関する祝意は下記の方法によって表わす。

(i)会員又は会員以外の弁理士が叙勲を受け、褒章を受章したときは祝電

(ii)会員が結婚したときは祝電

(2)会員の慶事に本クラブが招待されたときは、幹事会の決定に基づいて金員を贈り祝意を表わすことができる。

第3条

弔事に関する弔慰は下記の方法によって表わす。

(1)下記の者が死亡したときは弔電

(i)会員

(ii)会員以外の日本弁理士会会長又は副会長経験者

(2)下記の者が死亡したときは弔電のほか花輪、生花又は香典

(i)本クラブ幹事長又はその経験者

(ii)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上の経験者

(iii)会員以外の者であって日本弁理士会会長経験者又は現職の日本弁理士会会長又は副会長

第4条(罹災)

下記の者が、病気、怪我その他の事故等の罹災により、2ヵ月以上執務し得ないときは品物を送り見舞いの意を表わす。

(1)本クラブ幹事長又はその経験者

(2)会員であって、日本弁理士会会長又は副会長又は監事長並びに常議員会議長若しくはそれらの経験者並びに日本弁理士会委員長の5回以上経験した者

第5条(額の決定)

この規則における弔事に関し贈られる花輪、生花、香典及び見舞いのために贈られる品物の金額は、幹事会において予めこれを定める。

第6条(特 則)

この規則に定めない事項に関し、幹事会において慶弔の意を表わす必要があると特に認めたときは、幹事会の決定によってこれを行うことができる。

付 則

この規則は平成元年1月17日より施行する。

この規則の一部改正は平成13年1月25日から施行する。

「特別寄付金」を求めるときの 運用基準

(目 的)

第1条 この運用基準は、弁理士連合クラブ（以下、本会という。）の会務運営に必要な特別寄付金について定める。

(対象者)

第2条 特別寄付金を求める対象者は、日本弁理士会会長、同副会長、同監事長、同副監事長、同常議員会議長、同副議長、本会の幹事長、同副幹事長及びこれらの経験者（本会設立前の経験者を除く。）とする。

(基 準)

第3条 特別寄付金の基準は以下のとおりとする。

1. 日本弁理士会会長又は同経験者……………年 6 口
2. 同 副会長又は同経験者……………年 2 口
3. 同監事長又は常議員会議長若しくは同経験者……………年 4 口
4. 同副監事長又は副議長若しくは同経験者……………年 1 口
5. 本会の幹事長又は同経験者……………年 3 口
6. 同 副幹事長又は同経験者……………年 1 口

1口10,000円とする。但し、幹事会は諸般の事情を考慮して金額の増減を行うことができる。

(適用順位)

第4条 対象者が前条で定める基準に複数該当するときは、口数の最も多い方を適用する。

(求めの方法及び時期)

第5条 特別寄付金の求めは、年度初頭に定める本会予算に基づいて毎会計年度中に行うこととする。

第6条 この運用基準は、原則として満70歳以上の者については適用しない。

- 《注》・平成12年度第7回幹事会（平成12年12月21日開催）で決議
・平成12年度第2回総会（平成13年 1 月25日開催）にて報告
・平成12年度第8回幹事会（平成13年 3 月29日開催）で、第 6 条の追加を決議

編集後記

本年度も、多くの先生方にご執筆いただきまして、機関誌「連合」No.32を発行することができました。お忙しい合間を縫って、ご寄稿いただきました先生方には深く感謝申し上げます。特に、日本弁士会会長の杉村純子先生、日本弁理士クラブ幹事長の中村仁先生、西日本弁理士クラブ幹事長の川上桂子先生には、お忙しい中、機関誌「連合」への「ご挨拶」を賜り、深く御礼申し上げます。

企画委員会では、本機関誌の発行に加えて、親睦旅行会の準備・運営等を行っています。しかし、昨年度同様、新型コロナウイルスの蔓延により、残念ながら、今年も親睦旅行会を中止にせざるを得ませんでした。例年、旅行会の旅先（風景写真）が機関誌の表紙を飾るのですが、親睦旅行会が中止となり、遠方に気軽に出掛けることもままならないことから、今年は吉田企画委員長自ら秋の高尾山まで足を運び、撮影していただきました。

機関誌「連合」は、30年以上も長きに亘って、粛々と引き継がれています。連合クラブの具体的な活動を知る機会が少ない状況の中、機関誌「連合」は、過去に遡ってその記録を知ることができるたいへん貴重な資料と考えております。そのような機関誌の発行という貴重な経験をさせていただき、感謝しております。

最後になりましたが、幹事長の井澤幹先生、担当副幹事長の小國泰弘先生、企画委員長の吉田倫太郎先生、企画委員会の皆様（松本直子先生、須藤淳先生、岩田耕一先生）には、本機関誌発行にあたり多大なるご協力をいただきました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

（企画副委員長 小越 一輝）

弁理士連合クラブ会報

連 合

No.32

令和4年2月 吉日

発 行 弁理士連合クラブ
編 集 弁理士連合クラブ企画委員会
制 作 (株)文寿堂
Tel.03 (3948) 6631

弁理士連合クラブ